

令和3年度  
コミュニティ・スクール  
学校支援ボランティア  
実践報告集

学校・家庭・地域の対話と協働で拓く  
「地域とともにある学校づくり」

令和4年3月  
鈴鹿市教育委員会

## 目 次

平田野中学校	1
国府小学校	3
庄野小学校	4
明生小学校	5
創徳中学校	7
牧田小学校	9
飯野小学校	11
清和小学校	13
白鳥中学校	15
井田川小学校	16
石薬師小学校	18
加佐登小学校	19
神戸中学校	21
河曲小学校	24
神戸小学校	26
一ノ宮小学校	27
大木中学校	29
長太小学校	31
箕田小学校	33
千代崎中学校	35
若松小学校	37
玉垣小学校	39
愛宕小学校	40
白子中学校	42
稲生小学校	44
桜島小学校	46
旭が丘小学校	48
鼓ヶ浦中学校	50
白子小学校	52
鼓ヶ浦小学校	54
天栄中学校	55
天名小学校	57
合川小学校	59
栄小学校	61
郡山小学校	63
鈴峰中学校	65
深伊沢小学校	67
庄内小学校	68
椿小学校	70
鈴西小学校	72

## ◆ 平田野中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 地域との関わり

##### <地域との連携>

##### ○学校運営協議会の取組

今年度は、コロナ禍ではあったが、第5回のみを中止（書面回収）とし、第1回～第4回、第6回は予定通り実施しました。

第2回～第4回は、生徒の様子（授業参観、体育祭、文化祭）を見ていただき意見や感想をいただきました。第2回では、ICT機器を活用した授業の様子を見ていただき、今後の学習効果の向上につながる活用等についての意見をいただきました。また、本校の危機管理マニュアルを提示し、今後の見直しに役立つご意見をいただきました。第3回、4回では体育祭、文化祭の様子を見ていただき、生徒の様子や取組について意見をいただきました。また、第4回の際には、文化祭とともに20周年を迎えた「ヘルメットをかぶろう運動」についても、安全意識を高める意義ある取組なので今後も継続して実施をお願いしたいと委員のみなさまからの意見もいただきました。そして、ただ行うだけではなく、始まった経緯について生徒たちに伝え続けてほしいともありました。他には、9月に行ったオンライン授業に関する質疑がありました。学校側から良かったことや課題を説明し、今後の更なる可能性（不登校生徒への対応等）について意見をいただきました。第5回（書面回収）・第6回は、学校自己評価、関係者評価及び次年度に向けての話し合いを行いました。

特に学校関係者評価の際には、委員のみなさまから、様々なご意見をいただきました。本校の委員のみなさまの中には、経営方針に即した、専門性の高い方もおみえになり防災、心身に関する課題、キャリア学習等様々な角度から有益なご意見をいただき次年度の学校経営に役立てていきたいです。

また、今年度予定をしていた、まちづくり協議会の方とのワークショップもコロナ禍のため実施ができなかったため、次年度には、ぜひ実現させたいです。



## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・今年度は、本校の危機管理マニュアルを見ていただき、それをきっかけに「目指す学校像」にも記載してあるある「自他の命を大切にす  
る」にかかわる話し合いの場を持てたことが良かった。
- ・I C T機器を活用した授業風景も参観していただき、様々な可能性を秘めた活用についても意見をいただき今後につなげていきたい。

### (2) 課題

- ・これからも、教職員の総勤務時間の縮減に取り組みながら、学校と地域との連携を深めていけるよう取り組んでいきたい。
- ・校区で、小中の連携を図り、校区全体で子どもを見守るという、より効果的な運営協議会として機能するように努めていきたい。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	6	学生	1	20
地域住民	12	その他	1	

### 2 主な活動内容

#### ○図書ボランティア

「読書活動の充実」を目指して、まずは、図書室に足を運んでくれる生徒を増やそうと図書室のなかに季節に応じた飾り物やイベントの開催をしていただきました。また、書架の整理整頓、新刊紹介のPOP制作などしていただき、昨年度よりも利用生徒数、貸出冊数が伸びました。



#### ○安心安全ボランティア

「ヘルメットをかぶろう運動」の時には、自転車組合の方とともに全校生徒の自転車点検を行っていただきました。

#### ○学習支援ボランティア

地域の大学生に授業での補助をしていただきました。

## ◆ 国府小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

「まなび つながり のびる 国府の子」

～地域とともに「生きる力」を育む学校～

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- 2年ぶりに冬季休業中の「学習会」を実施することができた。
- 恒例の、児童会役員と学校運営協議会委員で、「あいさつ」をテーマにしたワークショップも行うことができた。
- 児童の声を直接聞くことができ、「あいさつ」の大切さをより実感できた。
- 児童の様子をもとに、今できること、必要なことについて話し合い、活動につなげることができた。
- 協働型として熟議を積み重ねていくことができた。
- コミュニティ・スクールだよりを発行し、熟議・活動内容を保護者・地域に発信した。



##### (2) 課題

- コロナ禍のもと、様々な活動制限があるが、熟議内容を学校運営に反映させていきたい。
- ボランティア活動はじめ協力的な地域の方の支援をさらに広げ、PTAにも協力をよびかけていきたい。
- 削減、縮小した取組について、再度検討し、学校運営に必要なものを再構築していく必要がある。



### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	12	学生	1	175
地域住民	162	その他	0	

#### 2 主な活動内容（※は、今年度は予定していたが実施できなかった活動）

- ・学習支援ボランティア  
（全学級に週一限以上の算数授業支援、冬の学習会、ミシン等の実技指導、米、野菜作り等の学習支援 ※漢字検定・夏の学習会 等）
- ・環境ボランティア（トイレ掃除の指導、児童奉仕作業の支援 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、通学路危険箇所等点検 等）
- ・図書ボランティア（※読み聞かせ）

## ◆ 庄野小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組（主な議題）

【第1回】学校経営方針，令和3年度の行事予定，配当予算，施設整備要望

【第2回】危機管理マニュアル，児童の様子参観，あいさつが響き合う庄野活動，見守りボランティア，卒業式の服装，ICTと深い学び

【第3回】全国学力調査に関する意見交換，いじめ防止，学校運営の進捗状況，第2回運営協議会についての意見交換。

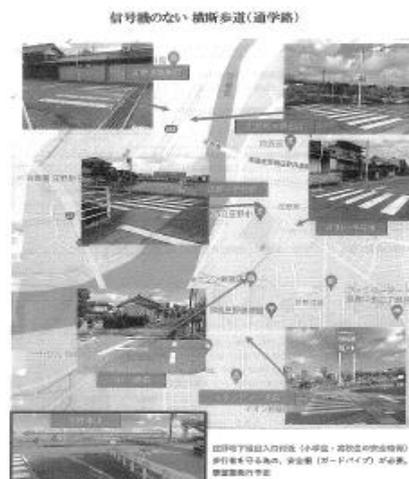
【第4回】学校関係者評価，あいさつが響き合う庄野活動，学校保健委員会

【第5回】学校関係者評価，令和4年度の学校行事についての意見交換

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・勤務状況や運営・経営努力，ICT学習の現状，感染防止など学校の実情を理解してもらえた。
- ・運営協議会，自治会，学校が連携して要望してきた汲川原橋の防護柵や，歩道沿いの車止めガードパイプが設置された。
- ・運営協議会ではいつも活発な意見交換や討議がなされ，右の写真のように自作の説明資料を作成してきてくださる方もみえた。



【信号のない横断歩道（通学路）】

##### (2) 課題

- ・活発な意見交換がなされるため，毎回会議終了予定時刻を超過してしまう。議題を絞って話し合うことや，意見を整理し会を円滑に進める必要がある。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	6	学生	0	50
地域住民	44	その他	0	

#### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（ミシン実習の支援，校外学習の付き添い）
- ・環境ボランティア（草刈り，樹木剪定）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，あいさつ運動のぼり旗設置）
- ・図書ボランティア（リモートでの読み聞かせ）

## ◆ 明生小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 第1回学校運営協議会（中止）

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止とした。学校教育目標・学校経営の改革方針，卒業式における服装，学校予算，学校評価（本年度の活動と指標）等の資料配付のみ行った。

##### (2) 第2回学校運営協議会（開催）令和3年6月25日（金）

令和3年度学校経営の改革方針について

令和3年度明生小学校の学校運営協議会の取組について

校内視察【下記写真参照】



##### (3) 第3回学校運営協議会（中止）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

##### (4) 第4回学校運営協議会（中止）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

##### (5) 第5回学校運営協議会（開催）令和3年12月10日（金）

・1年生の生活科「昔の遊び」に参加いただき，一緒に活動及び指導していただいた。

- ・「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について」  
コミュニティスクール推進コーディネーター杉谷直俊先生の講話
- ・全国学力学習状況調査の結果について
- ・学校アンケートの結果について

(6) 第6回学校運営協議会（中止）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。

但し、学校関係者評価書，令和3年度学校行事予定表，令和3年度土曜の教育活動計画書等の資料を配付し意見等を書面にて伺った。

2 取組の成果や課題

【成果】コロナ禍で感染症が拡大したため，様々な行事が延期，縮小となったが，年間を通して計画的に教育活動を進めることができ，子どもたち一人一人の成長が見られた。

【課題】たくさんの行事を含む教育活動が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期及び中止，又は縮小となった。  
次年度に向け，with コロナの視点から，児童，地域の方の健康と安全を第一に考えながら，どのような形で実施していかけるか慎重に検討していきたい。

II 学校支援ボランティアの活動について

1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	202人	学生	0人	272人
地域住民	70人	その他	0人	

2 主な活動内容

- ・ 環境ボランティア（10人：校内で飼育しているうさぎの飼育小屋整備，除草剪定，学級園整備，焼き芋会計画運営）
- ・ 安全安心ボランティア（26人：登下校の付き添い，交差点等危険箇所の警備）
- ・ 図書ボランティア（今年度は実施せず）
- ・ 学習支援ボランティア（今年度は実施せず）

## ◆ 創徳中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

- (1) 第1回学校運営協議会〔令和3年5月14日(金)〕

- ①本年度学校プロフィール，学校運営の改革方針，形成ビジョン，配当予算等について確認，及び承認。
- ②生徒の様子，本校の教育活動等について
- ③コミュニティ・スクール研修会の参加報告



- (2) 第2回学校運営協議会〔令和3年7月9日(金)〕

- ①生徒の様子，本校の教育活動等について
- ②全国学力・学習状況調査をもとに，学力向上について熟議
- ③教育委員会より

- (3) 第4回学校運営協議会〔令和3年11月12日(金)〕

- ①生徒の様子，本校の教育活動等について
- ②学力向上について熟議
- ③生徒・保護者・教職員アンケートについて

意見交換

- ④教育委員会より



- (4) 第5回学校運営協議会〔令和4年1月14日(金)〕

- ①生徒の様子，本校の教育活動，学校評価等について
- ②生徒・保護者・教職員アンケートについて意見交換
- ③全国学力・学習状況調査生徒質問紙について熟議
- ④教育委員会より

- (5) 第6回学校運営協議会〔令和4年2月10日(木)〕

学校評価等について，書面にて確認，及び意見をいただく。

#### 2 取組の成果と課題

- (1) 成果

本年度は新型コロナウイルス感染症緊急事態措置のため，9月の開催が中止となり，年5回の開催となった。そのような中，各協議会では，学校の現状や取組，生徒の様子を知っていただくとともに，子どもたちの成長を願った意見や要望をいただき，熱心な熟議が行われた。特に，学力向上についての意見交換が活発に行われ，校内の研究授業にも参加いただくなど，子どもたちの様子や教員の授業力向上の取組についても確認していただいた。

## (2) 課題

保護者、地域住民、学校（教職員）がコミュニティ・スクール推進に向けて、それぞれの役割や在り方について、学校運営協議会としてさらに啓発をしていく必要がある。今後は小中連携も視野に入れて、中学校区としてのコミュニティ・スクールの取組を模索していく。また、コロナ禍における学校運営協議会の持ち方についても考えていく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	0人	学生	0人	1人
地域住民	1人	その他	0人	

### 2 主な活動内容

- ①環境ボランティア
  - ・校舎周りの清掃作業等
  - ・校内の施設や備品の修理、修繕等
- ②安全安心ボランティア
  - ・朝のあいさつ運動
  - ・学校周辺での交通安全指導等



### 3 取組の成果と課題

#### (1) 成果

本年度も、学校運営協議会委員の方に学校支援ボランティアに登録していただき、学校が必要としている支援を積極的にしていただいた。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、生徒と直接かかわる採点業務等はしていただけなかったが、運動場のテントの張り替えや、第2グラウンドの日差しの設置、テニスコートのフェンスの設置、音楽室の指揮台の修理、図書館の本棚づくり等をしていただき、生徒たちは地域の方々からも支えられているという認識をもつことができた。

#### (2) 課題

コロナ禍における来年度以降の学校支援ボランティアの募集や有効な活用方法を考えていくことが課題である。



## ◆ 牧田小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 学校の課題の共有，具体的な改善策についての協議

###### ①学校の現状説明

今年度から，委員に児童の実態や学校環境をより知っていただくために，協議会の前半部分を授業参観とした。また，学校活動アンケートの結果を提示し，学校の教育活動について，児童や保護者の率直な意見を知っていただいた。

特別に支援が必要な児童が増加していることについて理解をしていただき，どのような対応をとればよいのかを協議した。また，委員にできることの確認をした。

###### ②学校自己評価の結果の提示

本校教職員が行った，教育活動についての自己評価について，意見をいただいた。

##### (2) 新型コロナウイルス感染症に係る対応についての協議

コロナ下で始まった学校生活について，児童の検温やマスクの着用状況，行事の実施について協議した。学校・家庭・地域が同じ意識を持ち，感染予防対策と児童の学習活動を保障していくことを確認した。

##### (3) 基本的生活習慣の定着に向けた「すいみんの日」の取組について

コロナ禍におけるリモート授業の実施や感染の第6波により，早退や欠席せざるを得ない状況が増え，家庭での生活リズムが崩れる児童が増えた。

本校の特徴的な取組である「すいみんの日」の位置付けを，一層充実させられるよう，学校と家庭，地域が一体となって推進することを確認した。



#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

支援が必要な児童に教員が関わる時間を確保するために，委員（主任児童委員）に朝の登校の見守りや，委員長に草刈りをしていただくなど，それぞれの委員が学校の課題を解決するために行動を起こしていただいた。

学校活動アンケートの結果，「学校は，子どもの安全の確保や健康管理に適切に取り組んでいる」の肯定的回答は98%（昨年度比+1%）で

あった。コロナ感染予防対応を始めとする健康管理について評価を得ていると考えられる。

同アンケートの結果、「子どもは早寝・早起きの習慣が身についている」の肯定的回答が86%（昨年度比+1%増）であったが、保護者の意識は高い水準を維持していると考えられる。

## (2) 課題

学校活動アンケートの結果、「学校は参観や各行事等、保護者に学校の様子を知ってもらう機会を設けている」の肯定的回答の割合は、85%であったが、昨年度比+12%となっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむをえないところもあるが、来年度学校運営協議会の中で、今後、保護者に学校の様子を知ってもらう機会をどのような形で実施していったらよいのか協議していきたい。また、今回も学校運営協議会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回実施することができなかった。今後、リモートでの開催なども考えていく必要がある。



## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	16	学生	0	70
地域住民	54	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、プリント印刷、校外学習の付添い）
- ・環境ボランティア（草刈り、学校周辺清掃、修繕）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・図書ボランティア（図書館の整備）



## ◆ 飯野小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組（地域の人材を活かした学校運営協議会）

##### （1）学校経営構想の共有と学校関係者評価の充実

飯野小で長年受け継がれている「知」「愛」「命と根っこ」の教育について、委員からの意見もいただきながら、すべての子どもたちに居場所をつくり、生きる意欲を育む学校づくりを推進した。

##### （2）コロナ禍の中での学校の在り方について

国・県・市の動向を踏まえつつ、コロナ禍で教育活動に様々な制約のある中、地域・家庭からの期待に応じていくための教育活動の在り方や授業参観・運動会・卒業式等学校行事の実施方法等について熟議し、「地域とともにある学校づくり」を推進した。

##### （3）地域・保護者との関わりを深める取組

コロナ禍の中での地域・家庭と学校の連携の在り方、教育活動の充実に向けたボランティア活用等について討議し、あいさつ運動や見守り運動等を行った。



（あいさつ運動）

#### 2 取組の成果や課題

##### （1）成果

- ・メディアとの付き合い方・いじめ防止に向けた取組・家庭学習の在り方等、具体的な課題について、地域・家庭・教育福祉関係等様々な立場から意見をいただき、学校運営に活かすことができた。
- ・授業参観やあいさつ運動等直接子どもたちに関わる中での気づきから、具体的な取組に向けての意見をいただき、教育活動を推進するうえでの参考にできた。
- ・コロナ禍の中ではあったが、感染防止対策を施しながらボランティアの協力を得られたことで、日々の学習支援（プリントの丸付け等）や、新1年生のスムーズな学校生活のスタートへ向けた支援、5年生家庭科（ミシン・運針等）等慣れない作業への支援、校外学習の場面での安全確保へ向けた支援などを受けることができ、教育活動のより一層の充実を図ることができた。



（新1年生の給食指導支援）

## (2) 課題

- ・学校運営協議会で議論されたことは、学校だより等で家庭や地域へタイムリーに発信しているが、地域・家庭の子どもたちの健全育成や教育活動にさらに関心を高めてもらい、地域ぐるみでの教育を推進していくためには、学校運営協議会からの発信をさらに充実していく必要がある。
- ・PTA関係や学童関係者・ボランティアの委員からは、子どもたちに直接かかわる側としてや保護者の側としての意見が、自治会長や地域関係者の委員からは、地域づくりの視点からの意見が挙がり、具体的かつ深まりのある議論がされた。今後さらに取組を充実させていくために、学校運営協議会からは、学校と家庭・地域それぞれの「めざしたい子どもの姿」を出し合い、それぞれの立場でできること等について議論できるとよいという意見をいただいている。
- ・教育活動のさらなる充実を図るため、マンパワーの確保として今後もボランティアの活用を図る必要があるが、感染防止対策をしながらも、コロナ禍の中活動の制約があることや、新規の募集が難しくなり登録者数が減少しつつあること、保護者がボランティア登録をする場合のルールの再確認等が課題として挙げられる。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	12	学生	2	41
地域住民	27	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け，ミシン，校外学習の付き添い 等）
- ・環境ボランティア（草刈り，樹木剪定，備品等の補修 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，交通安全教室の支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ，本の修繕 等）

## ◆ 清和小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 「清和の子 守り育てる地域の力」～学校運営協議会の取組～

##### (1) 環境整備について

- ・ 古紙回収ボックスを設置し，地域に呼びかけ，それで得た収入で，学校環境の整備や必要な消耗品を購入・修繕に役立てた。
- ・ 地域の方と栽培委員会の児童と一緒に，花壇の整備，校庭の落ち葉拾いや掃除など行った。
- ・ 地域コーディネーターの働きかけで，ベルマークの回収ボックスを公民館に設置したり地域の回覧版でも紹介したりする等，学校と地域，家庭が連携して活動することができた。

##### (2) あいさつ運動について

- ・ 民生児童委員さんを中心に地域の方と児童会の子どもたちやPTAの方と一緒にいった。

##### (3) 学校参観について

- ・ 授業参観や運動会など児童の活動の様子を見ていただき，授業内容や活動内容などの意見交換をしたり，学校への助言などをいただいたりした。

#### 2 取組の成果・課題

##### (1) 成果

- ・ 授業参観していただき，授業におけるICTの活用を見ていただけたことは良かった。授業を見ていただく中で，パソコン端末の効果的な活用方法について関心をもってもらい，意見交換することができた。
- ・ 地域アンケートの「子どもたちは進んで挨拶ができていますか。」では81%ができていると答えており，地域の方が声をかけていただいている成果と考えられる。地域の見守りボランティアの方からは，下校時に「ただいま」「ありがとう」と言ってくれる子が増えてきたという意見をいただいた。

##### (2) 課題

- ・ ボランティアの方が高齢化してきていおり，継続した活動が難しい。
- ・ 役員，委員の方以外にも活動参加を呼びかけ，さらに協力を強化して，ともに成長を喜び合う学校（地域）にしていく。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	27	学生	1	119
地域住民	90	その他	1	

### 2 主な活動内容

#### ◆読み聞かせ

毎週木曜日 8:20～8:30 に各クラスで保護者地域の方が読み聞かせを行っている。今年度はコロナの影響で、10月～12月のみの開催となった。

#### ◆学習支援

月曜日6限目に高学年（4・5・6年）対象に「チャレンジ学習」を行い、丸付けをしていただき、教員はその間分からない児童への指導を行った。コロナの影響で1回のみの実施となった。また教科では家庭（ミシン・調理実習）、図工（電動のこぎり）、生活（学校探検・校区探検）、社会科の田植えなどの支援・見守りに入っていただいた。1年生については給食の配膳・片付けの支援にも来ていただいた。日本語指導教室でもボランティアの方が児童支援に入っていただいた。

#### ◆クラブ活動支援

ハンドクラフトで活動していただき、教員ではできない指導をしていただいた。

#### ◆環境整備支援

学校園の整備、苗植えの指導など行っていただいた。学校敷地外周のフェンス側の草取り及び樹木の剪定、落ち葉拾いなどを行っていただいた。学校施設の修繕活動に尽力いただいた方もいて、児童の学習環境が快適になった。

#### ◆下校支援

地域の方に交差点などに立っていただいたり、保護者の方に下校時の地域パトロールをしていただいたりした。

## III 取組の成果と課題

### 1 成果

ボランティア活動の充実により、学力向上や安心できる学びの環境が保障され、教師にゆとりが生まれ、学校全体が落ち着いてきた。どの活動も児童の安全確保、きめ細やかな指導につながり大変助かった。

### 2 課題

長年尽力いただいている地域コーディネーターが今年度で最後になり、これまで通りのボランティア活動が難しくなる。新地域コーディネーターを中心に、学校ボランティアが充実できるよう働きかけていく必要がある。

## ◆ 白鳥中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

- 1 白鳥中学校の教育活動の充実をめざして（学校運営協議会の取組）令和3年度はコロナ禍2年目の活動となった。「子どもたちの教育活動を止めずにさらに充実をさせていきたい」という視点を忘れずに委員の方たちからは活発な協議を進めていただくことができた。

各回の主な議題や内容は以下の通りである。

#### 第1回【5月20日(木)開催】

- ・白鳥中学校経営方針等について
- ・本年度の学校運営協議会について

#### 第2回【6月24日(木)開催】

- ・生徒の登校風景や1限目の授業の様子への参観
- ・総勤務時間の縮減について

#### 第3回【11月9日(火)開催】

- ・文化祭展示、校内視察を終えて
  - ・「学力向上」の取組について
- 9月、12月、2月についてはコロナウイルス感染拡大防止のため中止。

### 2 取組の成果や課題

#### (1) 成果

- ・ICT機器活用、休校時のオンライン授業の実施について学校の取組を委員に伝えることができ、理解を得られた。ICTの活用の一方で、書く力など必要な力についても指摘をいただいた。
- ・登校や朝の会、文化祭の展示など生徒の様子を直接見ていただくことができ委員から率直な感想や意見をもらうことができた。
- ・学力向上や不登校などの課題だけでなく教職員の過重労働などについて議論をすることができた。
- ・委員としてまちづくり協議会からの参加もあり、地域との連携を深めることができた。

#### (2) 課題

- ・昨年からは、コロナ禍により十分な回数の協議会を開催できていない。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	1	学生	0	9
地域住民	1	その他	7	

- 2 主な活動内容 部活動支援ボランティア（外部指導コーチ等）  
図書館ボランティア

## ◆ 井田川小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 学校関係者評価を生かした教育課題改善のための協議

今年度も、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、第1回目の5月の開催を中止し、年間5回の実施となった。授業参観を通して、コロナ禍での学校生活の様子を伝えることができ、学校運営に関わる貴重な意見をいただいた。また、コロナ禍における学校運営について、委員の方々と協議する場を得られたことは、大きな支えとなった。また、本校の教育課題の改善についての協議でも、さまざまな視点から貴重な意見をいただいた。

##### (2) 学校や地域の特色を生かした取組についての協議

地域の方々の学校参画が、郷土への誇りを高めることはもちろん、活用力、自己肯定感、規範意識を高めることにも効果があることが明らかになっている。今年度も、学校や地域の特色を生かした取組を進めていく予定であったが、感染症対策のため、内容変更や中止をせざるを得なかった。

##### (3) 授業参観を通しての協議

授業参観で人権学習を見ていただいたり、人権集会の発表を動画配信で見えていただいたりした。授業中の子どもたちの様子から、聞く姿勢や話し方、発言の内容にいたるまで、さまざまな視点で話し合いがなされた。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・ 授業参観や協議で出された子どもの姿や実態からみられる課題に対して寄せられた意見を、校内の取組の見直しに反映させることができた。

##### (2) 課題

- ・ 地域や家庭との連携をさらに深め、コロナ禍においても、連携を継続できるものは継続し、強化すべきものは強化し、「どのような子どもたちを育てていくのか、どのような地域をつくっていくのか」というビジョンを共有しながら、『連携・協働』に向かうことをめざしていきたい。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	7	学生	1	114
地域住民	106	その他	0	

## 2 主な活動内容

### (1) 学習支援ボランティア

今年度も、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、書写、家庭科、計算習熟や読み聞かせのボランティアの依頼は控え、活動休止とさせていただいた。地域のボランティアの方々は、来年度に向け、子どもたちのためにできることをしていきたいと前向きに考えてくださっている。

#### ① 生活科・総合的な学習の時間のボランティア

本校は地域を舞台に、各教科の連携を密にした生活科や総合的な学習の時間の学習を行っており、地域の方々にゲストティーチャーとして授業に参画していただいた。今年度も感染症対策のため、規模を縮小して実施した。

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 1・2年生 | 野菜づくり（農業委員，JA職員）   |
| 2年生   | 見守り隊（青パト）のお話       |
| 2・3年生 | 鈴鹿警察の駐在さんのお話       |
| 3年生   | 消防団員のお話            |
| 4年生   | 元消防団員のお話（昭和49年の水害） |



1，2年生野菜づくり

#### ② 図書館整備ボランティア

図書館整備ボランティアは、週に1回、図書担当や学校巡回図書指導員と連携しながら、掲示物づくり等の環境整備や図書館祭り等の準備をしていただいた。それが、子どもたちの読書活動への興味づけにつながった。



図書館の背面掲示

### (2) 環境ボランティア（運動場の除草作業 延べ58名）

6月，10月に2回除草作業をしていただいた。

### (3) 安全安心ボランティア

自治会長，民生児童委員，学校運営協議会員，有志の方々に，毎日の登下校時に通学路の主要交差点で見守り活動やあいさつ運動を行っていただいている。また，下校時には，地域で青色パトロール認証を受けた方々を中心に，下校時の安全安心の見守りをしていただいている。



朝の見守り活動

### (4) お礼の会

毎年1月にお礼の会を開催し，学校支援ボランティアの方々をお招きして学習発表会を行っていたが，昨年度に続き，今年度も感染症対策のため，開催できなかった。今年度も，お礼の手紙とともに児童が製作した版画入りカレンダーをお渡しし，感謝の気持ちを伝えた。

## ◆ 石薬師小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

学校長が作成した学校経営の改革方針を承認し、その実効性が高められるよう、協議会として取組を進めた。会議の前には準備会を開催し、委員長と学校長、出席できる委員で集まり、会議での論点を明確にするよう努めた。

また、年間6回の会議を計画し、うち1回は、学校運営協議会委員と教職員との懇談会を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施できなかった。その代わりに授業参観等、学校や児童の様子を参観する機会を予定より1回増やして3回実施した。

実際の協議では、児童の学力向上、学校環境、通学路の安全等について意見交換を行った。こういった参観や会議での協議をもとに学校関係者評価を実施した。学校保健委員会にも委員が参加し、学校における健康の問題を協議した。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・授業参観や協議を通して、コロナ禍での学びの継続について、意見交換することができた。
- ・子どもたちの学力面、生活面での課題を共有することができた。
- ・破損箇所修理等、学校環境の改善につなげることができた。

##### (2) 課題

- ・委員全員が集まれる開催の仕方を考えていく必要がある。
- ・教職員も参加できる開催の方法も考えていく必要がある。
- ・委員による協議会の評価をもとに改善につなげていけるとよい。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	9	学生	1	75
地域住民	65	その他	0	

#### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（ミシン、電動のこぎり、校外学習付き添い）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ）・環境ボランティア（剪定、修繕）
- ・安全安心ボランティア（登下校見守り）

## ◆ 加佐登小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の提言を受けた学校改善案づくり

学校運営協議会で承認された「学校経営の基本方針」に基づいて学校運営を進めてきた。学校運営協議会では、学校の現状を把握し進捗状況を検討してもらうために授業や児童の様子をみてもらう機会を何度か設け、その都度成果や課題となることを協議していただいた。また、3学期は児童・保護者アンケート結果から1年間の取り組みの検証を行い、次年度に向けた改善案につなげることができた。

#### 【次年度に向けて】

- ・ICT機器の活用は推進された。今後は、授業の中での効果的な活用の仕方を探っていく。また、家庭での使い方のルールを啓発したり、児童の健康面への影響を考慮したりしていく。
- ・校外でも自分からあいさつができる子をめざして、児童主体の活動を取り入れ、教職員も元気よくあいさつできる雰囲気を作っていく。
- ・ICT活用補助や英語補助など、ボランティアの幅を広げて募集する。
- ・働き方改革として、職員の勤務時間や留守番電話の設定時間を保護者や地域に周知していく。
- ・学校運営協議会ではテーマを決めて協議を行う。

#### 2 まちづくり協議会青少年育成部との連携

##### (1) 取組内容

学年	主な取組, 連携内容
1年	昔の遊び体験 (中止)
3年	昔の暮らし学習, あられ煎り体験
5年	田んぼ活動 (田植え, 稲刈り (中止), 米の袋詰め)
夏休み企画	星のおはなし鑑賞会, 多肉植物を植えよう, 青色パトカーに乗ってみよう ペットボトルロケット飛ばし (中止)



【学校運営協議会委員



【米の袋詰め】



【昔の暮らしの紹介】



【あられ煎り】

による学校参観】

## (2) 取組の成果と課題

### ①成果

- ・教材の用意や様々な準備をまちづくり協議会の方々にしていただいたことで、教職員の授業準備の負担を軽減させることができた。
- ・地域の方に学校に来ていただくことで、学校の様子や子どもたちの実態を知っていただき、関心を高めていただくことができた。

### ②課題

- ・本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により連携授業も規模を縮小したり、中止になったりした。次年度も児童や協力をしていただく地域の方の安全を考えながら、連携活動の方法を考え持続していきたい。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	21	学生	3	96
地域住民	72	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（家庭のミシン）
- ・環境ボランティア（草刈り，樹木の剪定）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，地域の安全パトロール）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ，本の修繕，図書室の環境整美）



【登下校見守り】



【読み聞かせ】



【図書室の環境整美】

## ◆ 神戸中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 学校運営協議会の取組

#### 1 学校が抱える課題についての協議（熟議）・改善点・活動など

##### (1) 令和3年度の学校経営等について

- ① 学校経営改革方針・学校配当予算・学校危機管理マニュアルについて
- ② 通学路危険監視モニターの依頼及び承認について
- ③ 主な学校行事等について
- ④ 校区学校運営協議会の開催及び承認について
- ⑤ 地域による学校支援について

##### (2) 令和2年度学校関係者評価における改善点の進捗状況について

- ① 学力向上・長期欠席及び不登校問題について
- ② データを基にした学校長及び各校務分掌担当者からの説明について

##### (3) 地域との協働について

- ① 校区危険個所点検及び承認について
- ② 交通安全施設要望及び承認について

##### (4) 教育課題の改善について

- ① 生徒の様子について（オンライン平和学習参観後の熟議）
- ② コロナ禍における修学旅行の実施について
- ③ みえスタディ・チェック及び全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 神戸中学校区小中学校の連携及び校区学校運営協議会について
- ⑤ 中高連携の教育活動について
- ⑥ コロナ禍における学校教育活動について

##### (5) 令和2年度学校関係者評価指摘事項の改善状況について

##### (6) 令和3年度学校関係者評価について

##### (7) 校区学校運営協議会代表者会議及び全体会の開催について

##### (8) 令和4年度学校経営の構想（案）について



【学校運営協議会の様子】

#### 2 取組の成果や課題

- ・学校長及び各校務分掌担当者による学校経営の取り組み状況説明を画像やデータ等の活用した説明をもとに協議（熟議）することによって、さまざまな立場から見た学校教育活動の状況及び課題に対する理解が深まった。
- ・「学力の向上」「不登校」「教職員の勤務時間縮減」等学校の諸課題への対応について学校通信等を活用した具体的資料を基に年間通して協議（熟議）することで、学校の強みや弱み及び教育課題に対する理解が深まった。
- ・交通指導を含む生徒の問題行動への対応では、情報交換を行うとともに、地域との協働で、校区の危険個所の点検及び交通安全施設の要望に取り組み、地域の道路の安全環境の改善につながった。
- ・学習ボランティアとして神戸高校生徒の協力を得た土曜スクールを見学して、中学生にとっても高校生にとっても進路指導に関する効果があること

が明確になり、校種を超えた中高連携教育活動の理解が深まった。

- ・安全安心ボランティアの方の協力により、交通安全について地元企業から交通安全指導用の指導旗の寄贈を受けた。
- ・神戸中学校の新型コロナウイルス感染症対策について理解を得た。
- ・学校運営協議会とともに学校長のリーダーシップのもと組織的な取組を行うことで、地域等との連携から協働へと一步一步着実に進んでいる。
- ・校区学校運営協議会全体会を計画し、代表者会議は実施できたが、コロナ禍の影響により、全体会を開催することが困難であった。引続き開催に向けて取組を進めていきたい。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	20人	学生	55人	134人
地域住民	55人	その他	4人	

### 2 主な活動内容

- (1) 環境ボランティアとして、地域づくり協議会の活動の一環で年3回除草作業を計画し、コロナ禍の状況ではあったが、3回実施した。
- (2) 安全安心ボランティアとして地域の方や保護者が登下校時に交通安全指導を行っている。
- (3) 土曜の教育活動で3年生の土曜スクールに神戸高校の生徒が学習ボランティアとして参加した。
- (4) 部活動指導についてボランティアの方に指導協力いただいた。

### 3 成果と課題

- ・環境ボランティアについては地域づくり協議会の方々と教員、PTAが協働して年3回の除草作業を行うことができた。地域との連携の強化に繋がった。
- ・安全安心ボランティアについてはボランティアの方の熱心な指導により命を脅かすような大きな事故はなかった。しかし、自損事故を含め、生徒の交通事故が発生したので、引き続き安全安心ボランティアの方とともに学校としても交通安全指導に取り組んでいきたい。
- ・土曜スクールについては、学習ボランティアとして55人の神戸高校の生徒の参加協力があった。高校受験を経験した年齢の近い先輩方に学習指導を受けることで生徒たちは刺激を受けながら楽しく、真剣に取り組むことができた。参加生徒数も述べ200人を超える盛況振りであった。この活動は、中学生にとっても高校生にとっても好評な取り組みではあるが、土曜日開催は、教職員の勤務に関する課題があるので、次年度の実施方法や開催時期に関する課題の調整が必要である。

神戸中学校学校支援ボランティア



安全安心  
ボランティア



環境ボランティア  
除草作業



環境ボランティア  
除草作業



学習ボランティア  
土曜スクール



## ◆ 河曲小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 学校の経営方針と課題改善に向けての協議

- ・本年度の学校経営方針と重点目標について
- ・学力向上の取組について
- ・校区の危険箇所点検，学校敷地内の防犯対策について
- ・自主財源確保のためのバザーの開催について（昨年度に引き続き中止）
- ・土曜授業，年間行事予定について
- ・学校運営協議会の年間活動計画について
- ・学校アンケート結果と学校関係者評価について



##### (2) 環境整備の取組

- ・例年，河曲地区地域づくり協議会の方による，年4回の除草作業を実施してもらっている。地域の方に声をかけ，学校周辺を丁寧に除草していただいた。今回はプール横に防草シートを設置していただいた。

##### (3) 学校運営協議会のPRと地域へ働きかける取組

- ・夏休みのラジオ体操会（7/31，8/7） ※今年度で7回目



コロナ禍で多くの行事が中止となっているが，このような時だからこそ「できることをできるように」と工夫して取り組んでいる。終業式でのリモートを活用したアピールも成功し，年々参加者も増えてきている。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・自治会関係者，パトロール隊，地域関係者，保護者目線での率直な意見が出され，学校運営に関する内容や学校の課題解決に向けての内容について熟議し，活発な意見交換ができた。
- ・河曲地区地域づくり協議会の協力のもと，環境整備の面で大きな支援が得られている。
- ・入学説明会，PTA会議の場で運営協議会委員長から家庭で大切にしたいことを昨年度に引き続き保護者へ直接語りかけてもらう予定だったが，コロナのため残念ながら中止となった。
- ・神戸中学校区での取組も少しずつ充実し，中学校区での運営協議会も予定された。しかし，コロナで中止となった。

## (2) 課題

- ・子どもに関する課題解決のためには、PTA との一層の連携が必要である（家庭学習習慣の確立，あいさつ，ありがとうが言える子）。

## II 学校支援ボランティアの活動について



### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	50	学生	2	101
地域住民	49	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け，ミシン，校外学習の付き添い 等）
- ・環境ボランティア（草刈り，備品等の修繕 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，交通安全教室の支援 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ，本の修繕 等）

#### ○学習支援ボランティア

新型コロナウイルス感染防止の観点から，今年度は最小限のボランティアの方にお世話になった。

- ・総合的な学習の時間「米づくり」の指導（5年生）（本年度は中止）
- ・大学生による学習補助（各学年）及び教室に入りにくい児童の見守り
- ・家庭科での調理実習支援やミシン使用時の支援（5，6年生）
- ・生活科の学習補助（1年生，2年生）（本年度は保護者も参加）



#### ○環境整備ボランティア

- ・学校庭園の除草，樹木の伐採・剪定
- ・地元企業による交通安全見守りの旗の寄贈

#### ○安全安心ボランティア

- ・河曲パトロール隊による登下校時の見守り
- ・あいさつ運動（月1回）
- ・青パトでの校区内巡回
- ・運動会駐車場誘導



#### ○図書ボランティア

- ・学校図書館整備（本の修理・書架の整理）
- ・読み聞かせボランティア（本年度は中止）



## ◆ 神戸小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### ○委員の方々との情報共有

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、第1回学校運営協議会は書面にて行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ため、いろいろな制約がある中で、学校運営協議会を運動会、授業参観と兼ね、児童の様子や学校の取組をより深く知っていただく機会を持つことができた。
- ・登校中の児童の様子、児童の姿等に関する意見を委員の方々からいただき、学校での指導に活かすことができた。
- ・中学校区学校運営協議会と連携し、中学校区あいさつ運動を実施することができた。今後も中学校区の運営協議会と深くつながり、活動を広げていきたい。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・児童の安全安心のために、様々な団体の多数の方と情報共有をし、改善につながっている。

##### (2) 課題

- ・短い時間の中で効果的に議論を深める方法を考える必要がある。
- ・学校の「生活のきまり」を地域に知らせ、町全体で児童を見守ることを進め、まちづくり協議会との連携も一層深めたい。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	11	学生	0	12
地域住民	1	その他	0	

#### 2 主な活動内容

- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
  - ・図書ボランティア（本の修繕、図書室前掲示）
- ※昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校内の活動についてはボランティアを活用しなかったが、今年度、図書ボランティアについては活用を再開した。

## ◆ 一ノ宮小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

〈「学校経営の改革方針」の承認〉

- ・一ノ宮小学校における新型コロナウイルス感染防止・感染拡大防止対応についても承認された。

〈委員による授業参観（廊下からの参観）〉※

委員の感想抜粋

- ・子どもたちはどの学年も静かに授業を聞き、活発に手を挙げて発言をしていた。
- ・保護者の参観態度も節度があり、廊下でおしゃべりをしている人はいなかった。
- ・一人ひとりの子どもにいていねいに寄り添っている先生の姿を見てあたたかみを感じた。
- ・途中から登校した子に他の子があたたかく迎え入れている姿が素晴らしいと思う。
- ・どのクラスも積極的に個人 PC を活用していた、  
〈あいさつ運動〉
- ・中学校区のあいさつ運動の日程をポスターで掲示し、意識付けを行った。当日は校門前立っていただきあいさつ運動を児童とともに行ってもらった。放課後等地域でもあいさつしてくる児童は増えてきた。



〈情報交換〉

- ・ **Chrome book** の活用方法はどのようなものか。  
→オンライン授業・家庭学習等進めている。ICTの活用もいいが書くことも大切。子どものうちに行う繰り返し学習は大切だと思う。
- ・ヘルメット着用の推進  
→授業参観・あゆみ渡し等でヘルメットの展示・販売をするなどして少しずつ着用率があがってきた。
- ・コロナ感染症感染防止の観点から様々な行事が中止となったこともあり、地域とのつながりが薄れてきてしまっている。
- ・保護者対応など学校だけでは限界がある。専門的な人に任せてはいかないのか。  
→教育委員会等さまざまな機関と連携して対応していく。
- ・ゲストティーチャー等は将来に向かった子どもの視野がひろがるよい機会、学校運営協議会も呼んでもらったら、その地域の特色を生かしてゲストが思いつくかもしれない。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・授業参観をしたことで、委員が児童の学習時の姿を知ることができた。
- ・あいさつをする児童が増えてきたのはあいさつ運動の成果が出てきていると思う。顔見知りになるといろいろな声かけもできるようになった。

### (2) 課題

- ・学校支援ボランティアが以前より少なくなっている。ボランティアを大々的に募集する必要がある。
- ・学校運営協議会のメンバーの構成も若い世代を取り入れるようにしていく必要がある。
- ・今年の成果が来年度に続くように、協議会が地域や保護者に意見具申をしたり、教育活動をサポートしたりして、さらなる取組の企画・実施を行えるようにしたい。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	5	学生	0	12
地域住民	7	その他	0	

### 2 主な活動内容

#### (1) 学習ボランティア

- ・算数中心に授業支援
- ・日本語教室支援
- ・放課後スクール（補充学習）補助

#### (2) 読書活動支援ボランティア

- ・図書室の掲示や書架の整理整頓

#### (3) パトロールボランティア

- ・登下校の付き添い
- ・登下校の交通指導
- ・あいさつ運動



## ◆ 大木中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

「学校運営協議会と学校のかかわりについて」

～子どもの成長のために、学校・保護者・地域ができること～

4年目となる校区合同運営協議会と5回の運営協議会をとおして、学校内と家庭・地域、あるいは鈴鹿市全体から眺めた学校現場や子どもたちの現状と今後の見通しについて、それぞれの立場で把握し還流するとともに、理解を深め、その都度テーマとなった課題の解決に向けて熟議を行った。

話題としては、「通学路の見直し」「学力の向上」など子どもの実態や生活にかかわることから、地域連携として、運営委員長を中心に危険箇所・安全マップの作成などを行った。どのようにしたら、地域に危険箇所を認識してもらえるかなど、具体的な方法も議論し、通信の地域回覧や新入生説明会での新入生や保護者への周知など、実践を行うことができた。今後は、危険箇所を予知する力・考える力が必要になってくると考えられる。

生活習慣の見直しについては、今年度も大木中学校区で連携し、メディアコントロール週間を設け、「生活習慣チェックシート」への取組を行った。アンケートから、現在の子どもの生活習慣の現状を把握したうえで地域が学校にできることと学校が地域にできることなど、今後も交流を進めていく。

今年度は、第3回の学校運営協議会がコロナ感染防止のための緊急事態宣言のため中止になり、教職員全員と地域との話し合いの場を持つことはできなかった。第4回の校区合同学校運営協議会では、初の試みであるオンラインで学校運営協議会を開催した。「新校舎建設について」「新制服の採用について」などを中心に話し合い、新校舎建設に伴う地域連携の事案についても、地域の意見を取り入れながら進めていくことを確認した。

新校舎建設では、地域の防災拠点としての役割について、活発に討議された。また、学校に地域住民が利用できる図書館を設け、共有スペースを作る開かれた学校を目指し地域との協働、学校の活用についても今後、議論を続けていくことを確認した。

また、「校則の見直し」、「コロナ禍におけるオンライン授業や授業数」など、学校現場の課題や学力の定着に関しても意見をいただき、家庭・地域ができることなどについて熟議することができた。



学校運営委員会の様子



ボランティア活動の様子



図書ボランティア作成の掲示物

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

・コロナ禍により、合同運営協議会はオンライン形式とした。その中で、コミュニティスクールへの理解や、可能性について、様々な立場から意見をいただき、確認することができた。また、他の地域での具体的な実践を教えていただく中での気づきも多くあり、活発な意見交換の中で、校区の課題もみえてきた。

### (2) 課題

- ・学校ボランティアの方たちや生徒との交流の場がない。現在のコロナの状況では仕方ないが、学習支援では交流の場を作ってはどうか。
- ・学校運営協議会の必要性について、保護者等がどれだけ理解しているか、どれだけの人を知っているのか、役割を把握しているのかなど、もっと各々が連携し情報を共有し、活動につなげていかななくてはならない。
- ・ボランティアや地域のつながりなどは小学校からのつながりを是非中学校にも引き継ぎ、小中一貫のコミュニティスクールのありかたを模索すべきである。ボランティア活動の様子を周知し、身近なものとして知らせていく必要がある。
- ・教職員の働き方改革については、長時間労働が常習化しており、喫緊の課題である。教職員の意識改革という課題もあるが、保護者や地域の理解を得て、留守番電話の活用や地域人材の活用など、部活動や業務を見直し改善していく必要がある

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	83	学生	0	153
地域住民	70	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（小テスト採点、ルビふり、家庭科実習等）
- ・環境ボランティア（除草、草刈り、修繕等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通整理の支援等）
- ・図書ボランティア（本のフィルムコート、書架整頓、掲示物の作成、図書便りの発行、夏季休業中の一般貸出業務等）
- ・消毒ボランティア（スイッチ、手すり等校内の消毒清掃等）

## ◆ 長太小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 学校経営方針について

第1回学校運営協議会において、学校長から長太小学校の学校経営方針についての概要を説明し、本校の「めざす学校像」や「達成方策」について、ご意見をいただいた。特に、学力向上については、本年度から実施する国語科を中心とした「伝え合う力の育成」について、そのねらいや必要性を説明し、取組内容の承認を得るとともに、児童の実態や課題についての共有を図った。

##### (2) 長期休業中の児童の預かり事業（1～3年生対象：17日間）

夏休みに児童が安心して過ごせる居場所づくりとして、まちづくり協議会と学校が連携し、学校のあき教室を使用した「子ども預かり事業」を行った。初めて実施する事業であったが、地域の方々の協力を仰ぎ、たくさんの方に支援員として参加していただいた。また、児童は1～3年生の9名が参加した。

##### (3) コロナ禍における地域行事の実施

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、学校と地域が連携した行事の実施が困難であった。行事についてはその都度、学校運営協議会で協議を行い、実施の有無や内容の変更について検討した。

くみまもりたい総会、運動会、灯籠展示会、  
不思議なコンロ（防災）等＞

特に、くみまもりたいの総会は地域の協力が不可欠なため、学校運営協議会の協力を得て、時期を遅らせることで開催することができた。



##### (4) 教職員と学校運営協議会の交流

夏休みに、教職員と学校運営協議会委員の交流会を実施した。課題別に3つのグループに分かれ、それぞれの立場から意見交流を行い、学校の取組や課題の共有と今後の教育活動についての方策を話し合った。

その中で、児童の安全対策として出された意見から、後日、学校と学校運営協議会、地域の三者が連携した働きかけを行い、通学路にガードレールが設置されることになった。

- 討議内容
- ①「デマや差別をなくし、子どもたちの人権意識を高める」
  - ②「安全な登下校について」
  - ③「家庭学習チェックから見えてきた子どもや家庭の課題」

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・学校運営協議会では、毎回、それぞれの立場から見た児童の様子を交流している。また、地域からは工事や危険箇所等の情報をいただいているので、学校だけでなく、地域と連携した児童の見守り活動が行えている。
- ・運動会や行事の開催について、学校運営協議会で協議・検討をしていただいたので、保護者や地域の理解を得ることができた。
- ・みまもりたい隊員への連絡や調整など、地域に係る活動では、学校運営協議会や自治会に主体的に動いていただいている。それにより、地域と連携した活動を円滑に行うことができた。

### (2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策で、地域行事やボランティアの活動が縮小した。地域の方々の学校行事への参画が難しい現状により、学校と地域住民、ボランティア等の関係性が途切れてしまわないように、来年度以降の活動を検討していく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	56	学生	0	165
地域住民	94	その他	15	

### 2 主な活動内容

#### (1) 学習支援ボランティア（丸付け・ミシン・校外学習付き添い等）

- ・子どもたちの見守り，声掛け，アドバイス
- ・校外学習の支援，安全確保
- ・家庭科（ミシンや調理）の支援等
- ・学級園の整備



【読み聞かせ】

#### (2) 図書ボランティア（読み聞かせ）【5年生家庭科の支援】

- ・1年生～3年生，「朝の学習」で読み聞かせ。

#### (3) 安全安心ボランティア（下校見守り）

- ・「長太みまもりたい」隊員による登下校時の見守り。

#### (4) 地域コーディネーター

（学校ボランティアへの連絡・調整）

- ・学習支援ボランティア等の募集，日程調整，連絡。【みまもりたい一斉下校】



## ◆ 箕田小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

- 学校関係者評価を生かした教育課題改善の取組
- 地域と連携した、校区あいさつ運動への取組
- 地域と連携した、土曜の教育活動への取組
- 児童の教育活動への支援

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・学校支援体制を確立していただいたことで、教育活動がより充実した。
- ・運営協議会が主体となり、児童に「あいさつ推進ポスター」作成を募集し、地域に掲示した。あいさつの大切さを伝える取組となった。
- ・コロナ禍で、授業観察等はできなかったが、教職員との交流会や、動画で児童の姿を見ていただくことで、理解が深まった。また、chromebookの活用事例も見てもらい、ICT機器推進の様子も知っていただけた。

##### (2) 課題

- ・会議で、子どもたちの様子や学校での取組等について協議していることが、迅速に教育活動に活かせるようにしたい。
- ・地域づくり協議会と連携し、地域見守り隊の再編成に至ったが、活動の方法や内容などを整理して進めるには、まだ少し時間が必要。
- ・児童数の減少に加え、働く保護者が増える中、学習ボランティアの人員を確保することが難しくなっている。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	16	学生	0	101
地域住民	85	その他	0	

#### 2 主な活動内容

##### ○学習支援ボランティア

- ・算数支援…全体指導の中で丸付けを行ったり、支援の必要な児童へ個別の支援を行ったりする。

## < 算数 >



## < 家庭科 >



・家庭科実習…5年生の初めての針と糸を使った裁縫や高学年のミシン実習などの手伝いをしてもらう。

・校外学習の付き添い…

3年生地域たんけんなどに付き添い、安全に活動できるように見守ってもらう。



### ○安全安心ボランティア

・登下校の見守り…地域の老人会、民生委員、PTA安全部による、交通量の多い個所や横断歩道などの見守り。

・交通安全教室の支援、マラソン大会の見守りなど行う。

### ○図書ボランティア

・読み聞かせ…全学年へ月1回程度、朝のモジュールの時間に1学年ずつ実施。



・図書館教育担当と連携し、図書室への来室機会や読書の機会を増やす取り組みとして季節や学習内容を考慮した、図書の紹介や掲示物の作成を行っていただいた。・本の修繕、書架の整頓など

## ◆ 千代崎中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組等（地域との関わり）

##### ●岸岡モリメイトの支援

＜校内環境整備＞令和4年2月13日（日）

・学校運営協議会委員のお二人が中心となって活動されている「岸岡モリメイト」（癒しの岸岡山緑地整備事業の活動団体）のメンバー6人の方にお世話になって、校内にある木々の剪定や倒木の危険のある木の伐採



の伐採を行っていただきました。また、剪定した桜の枝を持ち帰り、卒業式に合わせて開花させ、卒業生の花道を彩るよう準備をしていただいています。職員、在校生、保護者だけでなく地域の方々の思いも込めた卒業式を創り上げ、それを卒業生が感じながら巣立っていくことを目的としています。

##### ●玉垣会館・玉垣児童センターとの連携

＜第44回玉垣会館文化祭＞令和3年11月13日（土）、14日（日）

・伝統ある玉垣会館の文化祭に美術部が作品を出展しました。来場者はコロナ禍の影響もあり、2日間を合わせて480人と昨年より減少はしましたが、みなさんそれぞれのペースで楽しんでいました。生徒の作品もたくさんの方々に好評をいただき、イベントに華を添えることができました。コロナ禍だからこそ、手づくりの温もりが伝わり、生徒たちの作品も地域に笑顔を届けるその一助となりました。

##### ●地域貢献

＜学校周辺のゴミ拾い＞令和3年7月27日（火）

・部活動の有志で学校周辺のゴミ拾い、集めたゴミの仕分け作業などを行いました。身近なところから自分たちにできることを実践し、地域貢献への意識の高まりを感じることができました。



## ●関係者評価等

<評価項目>

①研修 ②生徒指導 ③生徒支援 ④日本語指導 ⑤人権・道徳 ⑥総合

・評価項目を中心に「生徒会を軸とした主体性・自主性の育成」「自尊感情の向上」「SNSトラブルへの対応と連携」「心の教育」「ICTの利活用」「居心地の良い教育環境づくり」「登下校における危険箇所の改善」「(コロナ禍がきっかけとなった)行事の見直し」などさまざまな課題について熟議がなされました。



## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

・学校運営協議会開催日に授業参観を2回、学校行事の参観を2回(体育祭、文化祭)、それぞれ行いました。コロナ禍にありながら、柔軟に対応し、集中して学習に取り組む姿、生き生きと活動する姿、仲間と協働する姿など、生徒たちの現状・雰囲気を感じていただく良い機会となりました。地域の方々が来校されて声をかけてくださること、校内の環境整備(剪定、除草など)をしていただいていることなど、生徒たちは地域の方々に支えていただいていることを実感しています。

※生徒アンケートの「地域のいろいろな活動に参加したいと思う」肯定的回答：69.1%[市平均比+5.0ポイント、昨年度比+9.6ポイント]

### (2) 課題

・校区の小中で連携を図ることで、学校運営協議会の機能を効果的に発揮していくこと。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	20	学生	0	26
地域住民	6	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・環境整備ボランティア(樹木の選定・伐採、除草作業等)
- ・安全安心ボランティア(登下校見守り、補導等)

## ◆ 若松小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

- 夏休みラジオ体操の推進（地域交流，青少年健全育成の場として）
  - ・自治会とPTAが連携。若松地域づくり協議会も連携。子どもから大人まで，卒業生や地域住民も参加。

#### ○地域と学校とPTAの連携

- ・各自治会とPTA地区委員と連携（登下校指導・パトロール）。
- ・田植えや稲刈り体験，サツマイモの苗植えや収穫を農業委員会と若松地域づくり協議会が支援。
- ・光太夫太鼓（5年）を集会の形で披露，それにとまなう太鼓の提供を大黒屋光太夫顕彰会と若松地域づくり協議会が支援。



- ・若松地域づくり協議会が主体となり，令和2年6月5日から各教室の机や椅子等の消毒を地域ボランティアが毎日3～4名で行う。今年度は，ドアノブ・手すり・スイッチ等の共用部分の消毒を行う。
- ・8月7日・21日のクリーンスクール（除草作業）等への参加，草刈り機や運搬用トラックの提供。



- ・11月11日の津波避難訓練，引き渡し訓練の実施に若松地域づくり協議会，消防団等が参加。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため，昨年度に続き，地域総合防災訓練は中止）

- ・児童の安全安心のための看板等の作製，設置。



## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・学校運営協議会を開催することが少なかったが，書面等で連絡を取りながら，新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行いながら，今できる学力向上や安全安心の取組，地域との連携等について情報共有し，行事等を実施してきた。
- ・地域の方々の協力で，人材や教材を活かした活動を行うことができた。
- ・引き続き学校と保護者・地域と協働型の学校運営協議会として連携していくことを確認した。

### (2) 課題

- ・昨年度に続き，コロナ禍のなか，どのように連携をとっていくのが適しているのか，判断するタイミングが難しかった。
- ・学習ボランティアさんについては，登録していただいても実際に活動を依頼する機会がなかったため，来年度以降の連携の仕方について考える必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	207	学生	0	379
地域住民	171	その他	1	

### 2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（草刈り 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，避難訓練，消毒 等）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ 等）

## ◆ 玉垣小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

年6回開催し、学校運営の応援団として教育活動に対する理解と支援をいただいている。また、子どもの健全育成等に関する様々な立場から、貴重なご意見をいただき、学校の教育活動に反映させている。

##### (1) 通学路の点検について

P T A地区委員が現地調査や見守り隊からの聞き取りにより作成した通学路危険箇所一覧をもとに、通学路の安全確保について検討した。長年危険箇所としてあがっているが、改善に結びつかない箇所について学校・P T A・地域が連携し、具体的な改善を図っていくことが確認された。



##### (2) 家庭学習や読書について

家庭での学習や読書の時間が短い一方で、ゲームの時間が長いことから、ゲームに代わる楽しさを持たせたり、家庭学習の充実感を味わわせたりする機会を増やす工夫が必要であるとの確認がされた。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・通学路の危険箇所について協議された内容をもとに、自治会や旭が丘交番、市役所と連携しながら改善に向けた計画が進んでいる。

##### (2) 課題

- ・学校から提示された教育課題等を協議することが中心となっている。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	19	学生	0	68
地域住民	49	その他	0	

#### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア  
(丸付け、家庭科の補助、個別対応を要する児童への支援 等)
- ・環境ボランティア (除草作業 花壇の世話 等)
- ・安全安心ボランティア (登下校の見守り 等)
- ・図書ボランティア (読み聞かせ、本の修繕 書架の整理 等)

## ◆ 愛宕小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) コロナ禍の中の取組

###### 【第1回 5月17日開催予定】

新型コロナ感染症の拡がりが懸念される中、資料等を郵送し、書面決議とした。その際、マチコミの登録をお願いし、以降の文書はマチコミによる添付ファイルを活用できるようにした。それにより、子どもを介しての文書の送付をなくすことができ、印刷や綴じ作業の軽減と確実な送付、さらには子どもたちの安全確保を実現することができた。(マチコミメールはPDFファイルを添付できるので、非常に有効である。)

###### 【第2回 6月25日開催】

昨年度はほとんど取り組むことができなかった学習支援ボランティア等の再開や運動会の開催方法について熟議を行った。感染症対策をしっかりと行うことで、少しずつ前へ進めることを確認した。また、屋外で行う活動については、前向きに取り組むことを確認した。

###### 【第3回 11月4日】

2学期は初めから分散学習・オンライン授業となり、より厳しい状況となった。学校評価アンケートの実施に関しては、マチコミ等の活用を承認していただいた。委員からは「児童はクロムブックを使ってはどうか」という意見もいただき、検討し、実施することとなった。プリントの配布を削減することで感染リスクを少しでも減らすことができた。

大地震・津波避難訓練(11/12予定)について。コロナ禍に於いて、大人数での活動を進めるために協力体制を組んでいただけた。

###### 【第4回 12月7日】

秋の学校行事について振り返りを行い、今後の課題と希望を確認した。

学校評価アンケートの内容の検討を行った。知徳体安全安心を軸にした今年度の取組の評価ができる内容であるか、学校経営に反映できるアンケート内容であるか、児童・保護者・地域で連携できる取組につながる内容であるかなどについて精査を行った。

###### 【第5回 1月25日】

コロナ第6波が拡がりが懸念される中、感染対策をしっかりと行い、開催した。学校関係者評価を議題の中心に据えて熟議を深めた。学校から研修・人権・生活指導の長が参加して、今年度の取組や成果・課題について報告を行った。それに基づき、委員からは多くの質問や感想をいただいた。

また、改訂版危機管理マニュアルについても、その改訂点、今後追加すべき事項等について話し合いを深めた。

## 【第6回 2月25日開催予定】



### 【第5回の様子】

学校から研修・人権・生指の長が参加し、本年度の取組の成果と課題について報告を行った。

関係者評価の説明のみならず、広く学校の取組を理解していただくよい機会となった。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・コロナ禍の影響で、予定が直前で変更になることもあったが、柔軟に対応できた。また、予定の変更を見据えた準備等もできた。
- ・コロナ禍を逆手にとって、行事や活動内容の見直しを行うことができた。

### (2) 課題

- ・昨年度に引き続き、感染症の影響による制約が多くあり、予定していたことができなかった。今後、落ち着いてきたら、順次取り組んでいけるように計画していく。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	6人	学生	1人	65人
地域住民	58人	その他	0人	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、ミシン、校外学習の付き添い等）
- ・環境美化ボランティア（草刈り、備品等の修繕等）
- ・登下校安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教室支援等）
- ・読み聞かせボランティア（朝の読み聞かせ）
- ・図書館整備ボランティア（本の修繕等）

## ◆ 白子中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

- (2) 第1回学校運営協議会〔書面にての確認及び承認〕
  - ①本年度の学校運営，年間行事予定，配当予算等について
  - ②意見交換（書面にてご意見やご質問をいただいた）
- (2) 第2回学校運営協議会〔令和3年7月7日(水)〕
  - ①生徒の様子，本校の教育活動等について
  - ②「あいさつ運動」，「交通事故「ゼロ」を目指して」をテーマに意見交換
  - ③教育委員会より
- (3) 第3回学校運営協議会〔書面にての確認及び承認〕
  - ①生徒の様子，本校の教育活動等について
  - ②意見交換（書面にてご意見やご質問をいただいた）
- (4) 白子中学校区合同学校運営協議会〔令和3年11月9日(火)〕
  - ①各校の教育活動，各校の学校運営協議会の取組等について
  - ②「交通事故「ゼロ」を目指して」テーマに意見交換
  - ③教育委員会より
- (5) 第4回学校運営協議会〔令和3年12月21日(火)〕
  - ①学校環境の整備について ※教育委員会より説明および質疑応答
  - ②意見交換
- (6) 第5回学校運営協議会〔令和4年1月26日(水)〕
  - ①校舎改修工事について ※教育委員会より説明および質疑応答
  - ②意見交換
- (7) 第6回学校運営協議会〔令和4年3月2日(水)〕
  - ①生徒の様子，本校の教育活動，3年生の進路の状況等について
  - ②令和3年度学校関係者評価について
  - ③本年度の取組および来年度の取組について意見交換

#### 2 取組の成果と課題

##### (1) 成果

学校運営協議会では，学校の現状や取組，生徒の様子などを知っていただくとともに，委員の方から，子どもたちの成長を願った意見や要望をいただき，熱心な熟議が行われた。とくに本年度は，「校舎改修工事」について，教育委員会より説明をいただき，意見交換を行うことができた。

##### (2) 課題

保護者や地域住民，学校（教職員）がコミュニティ・スクール推進に向けて，それぞれの役割や在り方について，学校運営協議会としてさらに啓発をしていく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	84	学生	1	106
地域住民	21	その他	0	

### 2 主な活動内容

#### ◇ 学習支援ボランティア

例年、夏季休業中に実施する「白ゼミ」（補充学習）の一環として、国際教室に通級する外国籍生徒への日本語指導・学習補助に支援をしていたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができなかった。

#### ◇ 環境ボランティア

P T A福祉部が中心となり、校門や正面玄関を飾るプランターへの「花の苗の植え替え」の支援をしていただいている。（本年度は、11月のみ実施した。）また、地域のボランティアの方には、学校周辺の除草作業等に絶えず自主的な支援をしていただいている。

#### ◇ 安全安心ボランティア

登校時に、地域の方々や民生委員・児童委員、P T Aの方々に、交差点等、交通事故が心配される箇所を中心に交通安全ボランティアとして生徒の見守りや声かけなどの支援をしていただいている。

#### ◇ 読み聞かせボランティア

例年、朝の読書活動の時間に1・2年生で絵本の読み聞かせや、1年生での読み聞かせ集会に支援いただいていたが、昨年度および本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することができなかった。

### 3 取組の成果と課題

#### (1) 成果

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった活動もあったが、対策を講じながら例年どおり実施することができた活動もあった。来年度以降、これまで実施してきた学習支援ボランティアや読み聞かせボランティア等の取組を再開していきたい。

#### (2) 課題

来年度以降、各ボランティアの募集や有効的な活用方法を考えていきたい。とくに本校の課題の一つである交通事故の防止やマナー面での指導に交通安全ボランティアを増員していくためにも、今後、保護者や地域の方の参加や協力を呼びかけていきたい。

## ◆ 稲生小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会での協議

##### (1) 学校関係者評価を生かした教育課題改善の取組

- ・学校関係者評価をより実効性のあるものへと高めるために、学校アンケートをもとにどのように取り組むことが保護者や地域の方々の願いを反映することができる教育活動なるかを協議した。
- ・教員と子ども、保護者の現状を分析し、具体的な改善策について協議した。

##### (2) コロナ禍の中での取組及び情報共有

- ・新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じながら、学校教育活動や学校行事をいかに進めるべきかを協議した。その中で、一人1台端末の整備によりオンライン授業を行うなど進歩したことや、学校行事の精選を行い学校の働き方改革がすすんだこと等を議論した。
- ・全国学力・学習状況調査の結果や分析した内容について共有するとともに、授業参観していただいた。その中で、子どもたちの現状や教員の指導方法の工夫、1人1台端末等の学習環境について話し合った。また、家庭学習の定着など本校の課題についても共有した。
- ・安全な登下校及びあいさつ運動の推進等について、地域・保護者・職員・児童会が一体となった取組の継続を確認することができた。



##### (3) 学校における「働き方改革」の推進

- ・教職員の勤務状況について共有し、削減するための対応策について話し合った。その中で、勤務時間外の電話受付時間短縮に対してご理解いただいた。

##### (4) 夢ある稲生まちづくり協議会との協働

- ・前会長から「子ども食堂」などまちづくり協議会の取組や稲生地区の文化等についてお話しいただき、地域の方々の願いに触れた。
- ・総合学習の中で「稲生・農地・水・環境を守る会」の方々にご協力いただき、農業に対する思いや工夫を知ることができた。
- ・子どもたちに「稲生地区青少年育成町民会議」主催の「こんなまちにすみたいな」作文コンクール参加させるにあたって、地域の行事などのついて話していただいた。その中で、地域で子どもたちを育てる活力を感じることもできた。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・感染対策のため、保護者や地域の方々が学校を訪れることに制約がある中、「学校だより」やホームページ、メール、電話等を活用して、随時情報共有した。学校の運営や課題の解決について、その対応及び解決に向けて、保護者や地域と、連携・協働して取り組むことができた。

### (2) 課題

- ・保護者及び地域の方々に対し、様々な情報を適切に発信し、3者の連携及びコミュニケーションの充実を図っていくことが不可欠である。
- ・地域との協働活動を保ちつつ、学校現場の働き方改革を具体的にどのように進めていくとよいか継続した協議が必要である。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	22	学生	1	100
地域住民	77	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援（国語・算数授業補助，九九練習，図工製作，家庭科ミシン等）
- ・読み聞かせ（学期3回ほど，ICT活用）
- ・農業体験（米，さつまいも作りの体験等）
- ・学校生活支援（1年朝・配膳・下校支援，特別支援学級校外学習見守り等）
- ・環境整備（学校園の草刈りや畝づくり，施肥，図書室環境整備等）
- ・安全安心（登下校の見守り，あいさつ運動の支援等）



### 3 成果と課題

- ・連絡調整を地域コーディネーターに一本化することにより，登録ボランティアの活用が，より効率的・効果的に進められるようになった。
- ・地域の教育資源を生かした学習を，教育課程にどう組み込んでいくかが課題である。
- ・ボランティアが持続可能な活動となるよう，新規登録者を増やしたい。



## ◆ 桜島小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

今年度は、昨年度中止した白子中学校区の交流会を開催することができた。しかし、学校運営協議会は感染拡大防止のため、6回中3回を書面開催とした。

第1回・・・学校経営方針の承認・桜プロジェクト・除草作業について

第2回・・・桜島小学校いじめ防止基本方針について

第3回<書面開催>・・・学力向上の取組・学校アンケート・桜プロジェクトについて

第4回・・・白子中学校区学校運営協議会（校区の安全について）

第5回<書面開催>・・・学校保健安全委員会と兼ねる。学校評価について

第6回<書面開催>・・・学校評価について・次年度について・R4年度土曜日の教育活動について

#### 1 コロナ禍における、保護者・地域とのつながり

##### 土曜授業の取組

保護者や地域とのつながりが途切れないようにするために、どのような取り組みができるか協議し、土曜授業で全校児童が取り組む除草作業に、PTAや学校ボランティア、自治会の有志の方に参加していただくことができた。



自治会有志の方々



PTA・学校ボランティアの方々



作業の様子

##### 夏休みの奉仕活動

分散して行うため、活動期間を1週間ほど設定した。最終日はPTA役員が中心となり、スクールパーク内の整備をしていただいた。また、学校運営協議会のよびかけで、この時期に合わせて地域の方にも除草のご協力をいただいた。



作業の様子

### 桜プロジェクトの取組

昨年度、学校運営協議会が中心となって、桜の木を20本植樹した。樹木医さんに診断していただいたり、地域の方に定期的に消毒していただいたりして、手厚く協力をいただいた。今年度から、桜を見守る活動を、6年生が毎年引継いでいくことにした。



樹木医さんによる診断

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・ホームページへの掲載を増やし、学校だよりは地域へも回覧していただいた。保護者や地域の方に、直接児童の活動を見ていただく機会は減ったが、学校からの情報発信は頻繁に行い、周知することができた。
- ・感染対策を行ったうえで、可能な限り学校と保護者・地域がともに取り組めることを協議し、進めることができた。学校ボランティアについても、地域コーディネーターの働きかけによって新規のメンバーが加わり、活動の輪を広げることができた。

### (2) 課題

- ・授業参観は、4月から9月に延期し、学校運営協議会と合わせて開催する予定であったが、休業となったため実施できなかった。来年度は実施できるよう計画したい。
- ・桜プロジェクトの引継ぎについては確実に言い、6年生の取組として、年間を通じた活動計画を立てる必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	8	学生	0	53
地域住民	45	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（総合「昔の暮らし」・家庭科実習の支援）
- ・環境美化整備ボランティア（草刈り、樹木剪定等）
- ・読み聞かせボランティア（読み聞かせ・本の修繕等）
- ・安心安全ボランティア「桜島っ子見守り隊」（登下校の見守り）

## ◆ 旭が丘小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校施設の充実，改善に向けて

##### (1) タイヤモニメントの設置



卒業記念として，6年生がペンキで色付け。3月末に記念プレートを設置していただいで完成します。

昨年度の芝桜植樹に続き，今年度は，卒業記念として校庭にタイヤモニメントを設置していただいた。タイヤ26本の調達，埋め込み作業，記念プレートの作成と設置，着色のためのペンキ，ハケ等の調達等，自治会，まちづくり協議会の皆様の多大なるご尽力により，完成させることができた。

##### (2) 学校施設の充実に関する要望



教育長へエアコン設置要望書を提出

図書ギャラリーにエアコンが設置されていないため，特に夏場の劣悪な図書館環境改善のため，空調設備設置に向けて，学校運営協議会として要望活動を行った。設置に向けては道半ばであるが，未設置の現状を協議会で共有し，改善に向けて様々な方面に積極的な働きかけを行っていただいた。

##### (3) 積極的な情報発信

学校だよりや教育活動成果の地域への回覧，ホームページの充実により，学校の取組を地域へ発信してきた。今後は，発信に対してフィードバックしていただく手段や方法を検討したい。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・自治会，まちづくり協議会のご支援のもと，体力向上の取組に活用できるタイヤ遊具を卒業モニメントという形で設置していただくことができた（学校施設の充実）。
- ・施設要望を様々な人脈を通して働きかけてもらったことで，改善に向

けて動き出すことができた。

- ・自治会長，民生委員，まちづくり協議会，地域の公的機関等のご理解，ご協力の下，地域を舞台にした総合的な学習の時間や生活科の授業を充実させることができた。
- ・学校関係者評価を通して，建設的なご意見を多くいただいた。

## (2) 課題

- ・学校施設要望（図書館空調）については，市財政当局の理解が得られていないことから，今後も引き続き働きかけていく必要がある。
- ・これまで継続的に実施されてきた行事等の継承について，アフターコロナを見据えて，自治会，民生委員，PTA 等と丁寧に擦り合わせていく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	33人	学生	2人	60人
地域住民	18人	その他	7人	



三重県 SDGs 推進  
パートナー認定（1月）

### 2 主な活動内容

持続可能な支援体制が構築されており，充実したボランティア活動が行われている。

- ・学習支援ボランティア（丸付け，ミシン，調理実習補助，校外学習の付添い，計算の習得補助，昔遊び，SDGs 申請 等）
- ・環境ボランティア（草刈り，季節のディスプレイ作成，備品等の修繕）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・図書ボランティア（図書ギャラリーの整備，読み聞かせをはじめとする読書に親しむ各種イベントの開催，本の修繕 等）
- ・クラブ活動支援ボランティア（高専教員，地域住民によるクラブ指導）



読書環境の充実



民生委員さんによる昔の遊び体験



クラブ活動支援



自治会長さんによる出前授業

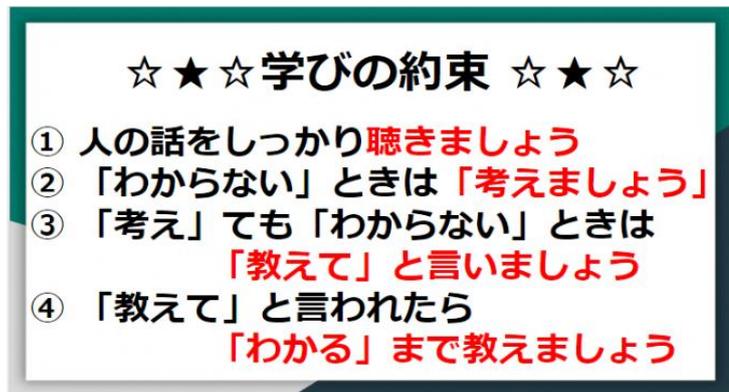
## ◆ 鼓ヶ浦中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 「聴き合う関係」を大切にした授業の取組についての協議

鼓ヶ浦中学校の「どの子も一人にしない」授業づくりの理念や実際の授業づくりについて説明を行った。コロナ禍の中、4人グループや「コの字」での学習をいかにしているかの質疑などがあり、学校の取組への理解を深められた。また、休校の判断やオンライン学習の進捗状況などについても話し合った。(写真)



##### (2) 制服をはじめ校則の改定についての協議

登校靴の自由化や上靴、体育館シューズの変更について提案し、承認をいただいた。高価な靴を履くことで、家庭の負担になるのではないかなどのご意見もあり、今後予想される制服やジャージの変更についても家庭の負担について考え、今の制服等の値段と上がらないように選定していく方向を確認した。

##### (3) コロナ禍の中での学校行事についての報告と協議

修学旅行についてホテルや食事場所にはコロナ対策を徹底してもらい延期をしたものの旅程通りに行うことができたことや、運営協議会の方々にも参観いただく予定であった体育祭、文化祭についても実施できたこと等、学校の現在の様子についてお知らせし、コロナ対策について質疑応答を行った。(写真「修学旅行旅程紹介」)



鼓ヶ浦海岸清掃を10月に実施できたことで寺家地区青少年育成会議の堤委員よりお礼をいただいた。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・制服変更に対する地域の方の率直な意見を伺うことにより、職員や生徒の考えだけでなく、制服改定実現への課題を認識することができた。
- ・コロナ禍の中での学校運営の課題や実践について地域の方に理解をもらい、意見をいただくことができた。

### (2) 課題

- ・今年度、学校運営協議会を6回計画していた。しかし、コロナ禍で3回が中止となり、体育祭や文化祭など学校の活動を直接観てもらえる機会が持てなかった。この状況が何年も継続する中、学校運営協議会自体もリモートなどで会議を行うなどして、学校側の発信と委員の方の意見の吸い上げを行っていかねばならない。
- ・地域との交流の機会が減少する中、数少ない交流行事に生徒が積極的に参加していこうとする意識を高め、地域の良さやつながりを実感できる学校での授業づくりを進めていかなければならない。
- ・学校、地域、保護者の連携を深めるために、それをファシリテートできる人材育成を図ることが必要である。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	54	学生	0	57
地域住民	3	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・環境ボランティア（校内の草刈り）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）

## ◆ 白子小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 「学校経営の改革方針」についての協議と承認

- ・学校教育目標「わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校」の実現に向けた「学校経営の改革方針」について協議し、承認された。

##### (2) 教職員の「働き方改革」についての協議

- ・勤務時間縮減の取組として、今年度は「会議の効率化」「校務の ICT 化（ペーパーレス化）」等を進めた。更に、教職員の業務負担軽減と子どもたちと向き合う時間確保のため、「留守番電話の導入」を提案し、承認された。

##### (3) コロナ禍における取組の情報共有

- ・基本的な感染症対策（マスクの着用・消毒・検温・換気等）を徹底し、放課後は、スクール・サポート・スタッフさんによる児童の机の消毒も行っている。
- ・学校から家庭へ、休業中や休日、下校後等における緊急連絡の可能性も増している。よりわかりやすく迅速に連絡文書を発信するために、PDF ファイルが添付できる「マチコミ」（メール配信ツール緊急連絡網）への変更を提案し、承認された。

##### (4) 1人1台端末の活用の情報共有

- ・9月のオンライン授業では、大きな混乱もなく、無事に終わることができた。また、ドリル学習等では児童一人一人のペースに応じた使い方等を工夫している。今後の課題として、学年に応じた情報活用能力の習得に向け、系統的な指導を進めていく必要がある。

- ・ICT ミニ研修会（年間 8 回）と ICT 活用に関する全体研修会（年間 1 回）を実施し、教職員の基本的な ICT スキルの向上につながった。

##### (5) 地域づくり協議会との連携

- ・PTA 奉仕作業は中止となったが、学校の環境整備のため、地域づくり協議会自治会長の有志の方々による除草作業を行っていただいた。

##### (6) 地域教材の積極的な活用

- ・全国学力学習状況調査の児童質問紙の結果より、質問「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対する肯定的回答が全国よりも低いことがわかってきた。これを受けて、「白子には歴史的価値のあるものがたくさんある。地域や社会への関心を高め、積極的に地域学習を継続して行ってほしい」という思いが出された。

##### (7) 「令和 3 年度学校関係者評価」をいかした教育課題の改善について協議

- ・学校側から、今後の改善点についてポイントをしばって説明した。委員さんからは、全国学力学習状況調査の結果（記述式問題の課題）と読書活動の推進とを関連づけたご意見をいただいた。学校関係者評価をもと



に、より実効性のある具体的な改善策について協議できた。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- 学校運営協議会委員の方々は、大変協力的で、委員経験年数の長い方もみえる。そのため、継続的に白子小学校の様子を把握され、学校運営においてとても建設的なご意見を述べられる。
- 今年度から「地域づくり協議会」や「民生児童委員」といったこれまでと違う立場の方々に委員になって頂き、学校と地域の連携を様々な角度から考えていくことができると思われる。

### (2) 課題

- 学校と地域の継続的な連携の強化のため、地域コーディネーターなどファシリテートをしていただける方の存在は大きい。そういった人材の確保を図っていくことが必要である。
- コロナ禍の影響でボランティア活動等が制限された。引き続き情報発信に努め、学校教育やボランティア活動への関心を高めていく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	10	学生	0	60
地域住民	50	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（丸付け、ミシン、図工 等）
- ・環境ボランティア（草刈り、樹木剪定 等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・図書ボランティア（小冊子「卒業生する君たちへ」、卒業生へのブックカバーの作成 等）



## ◆ 鼓ヶ浦小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

学校運営協議会では、学校行事への協力体制や子どもたちの学習及び生活面に関する課題等を熟議してきた。今年度も、新型コロナウイルスの影響があり、感染症防止対策を考えながら5月の地域との協働による地震津波を想定した稲生小学校への避難訓練は実施することができた。しかし、6月地震・引渡し訓練は二学期に延期し、公民館・おじさんセミナーとの協働事業については中止や実施内容の変更をするなど、感染症防止対策を取りながら実施可能な行事について助言をいただきながら活動に取り組んだ。

##### (1) 地域・学校・PTA との連携

運動会では、演技・競技内容を縮小し、半日開催とした。来賓の参観については希望される方のみとした。砂の造形活動では、一緒に造形作りを行わず見守りという形での参加とした。

##### (2) 学校開放デーの参観

新しく導入された ICT 機器を活用した授業や、学校での新型コロナウイルス感染予防対策の様子について見学していただいた。



#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、今年度も様々な活動が縮小・中止になってしまったが、屋外での活動や換気を徹底し、感染症防止対策を取りながら実施できる活動を考え、可能な範囲で取り組むことができた。

##### (2) 課題

- ・ コロナ禍でも一緒に活動できる方法をさらに考え実施するとともに、学校の様子を情報発信していく。

### II 学校支援ボランティアの活動について

#### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	31人	学生	0人	91人
地域住民	60人	その他	0人	

#### 2 主な活動内容

- ・ 学習支援ボランティア（授業支援、体験学習の講師及び支援 等）
- ・ 環境ボランティア（除草作業、花壇整備、備品等の修繕 等）
- ・ 安全安心ボランティア（登下校の引率、校外行事の安全 等）
- ・ 図書ボランティア（読み聞かせ、掲示物作成 等）

## ◆ 天栄中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会及び校区ネットワーク委員会の取組

(1) 天栄中学校運営協議会として、毎回(計6回)の会議で「学校の課題」や「地域における学校」等の熟議を重ねてきた。本年度は、特に「ICT機器の活用状況」「教職員の働き方改革」を中心に10名の委員、1名の地域コーディネーターで方策を考え活動を行った。

今年度は、本校で11月に鈴教研研究発表会があり、授業の参観を行った。そのため、例年6回の開催が5回となったが、学校生活の様子を直に見てもらえる機会が増え充実した時間となった。



(2) 天栄中学校区ネットワーク委員会を校区の幼稚園・小学校・中学校の一貫した教育の円滑な推進に資するための協議機関として設置している。この委員会は天栄中学校、合川小学校、天名小学校、栄小学校、郡山小学校、稲生小学校の各学校運営協議会と栄幼稚園で組織している。年間3回開催予定であったが、コロナ禍のため1回のみ開催となった。



- ① 鈴鹿市学校規模適正化・適正配置の意見交流会。
- ② 天栄中学校区通学路の交通施設の改善問題の意見交流会。
- ③ 幼小中接続・地域との連携した防災教育・活動のあり方の交流会。
- ④ 各運営協議会での活動内容等の交流会。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・学校運営協議会で熟議を重ねることにより、学校や地域での課題が明確化になり、学校との協働で活動することができた。
- ・各委員が、学校内外での様々な教育活動に関わり、「地域と学校」「関係団体と学校」の結びつきを深めている。
- ・本年度は特に、教育現場におけるICT機器の活用状況や教職員の働き方改革についての意見交流がなされた。

##### (2) 課題

- ・鈴鹿市通学区域の弾力化に伴い天栄中へ進学する稲生小学校出身の生徒の増加に伴い、稲生小学校や稲生地区とのより一層の効果的な交流や連携を具

体的に進めていかななくてはならない。

・長期的な展望にたつて地域と学校の関わりを強化する方策を図る必要がある。

## Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	3	学生	0	26
地域住民	22	その他	1	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（夏休みの補充学習支援，部活動支援）
- ・環境ボランティア（草刈り，樹木剪定）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り，防災訓練の支援）
- ・図書ボランティア（図書室の環境整備，図書案内の掲示）

#### （1）空き缶回収ボックス及び資源ごみ回収箱設置と回収作業

地域コーディネーターと学校運営協議会委員が中心となって回収ボックスを集会所や公民館4箇所にも常設した。その資源ごみ収益金はPTA活動を通して教育活動推進の大きな財源となっている。各自治会長の理解や地域住民の協力が大きな力である。さらに，運用が始まると定期的に巡回し，一杯になったアルミ缶を学校の保管場所まで運んでくれている。



#### （2）図書案内の掲示

毎月，年中行事や季節の植物などの掲示物や詩の紹介を本館・東館の掲示板に飾ってもらっている。学校通信やホームページでも保護者や地域に活動を紹介している。

#### （3）地域コーディネーター連絡会議の開催

本校の地域コーディネーターと校区の各小学校の地域コーディネーターが情報交換する連絡会議を1回開催した。（例年は2回）



## ◆ 天名小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会での協議

##### (1) 第1回学校運営協議会

- ・学校経営方針
- ・年間行事予定
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策

##### (2) 第2回学校運営協議会

- ・授業参観後の児童の様子について意見交換
- ・1学期いじめアンケートの結果について情報共有
- ・通学路の危険個所について確認

##### (3) 第3回学校運営協議会

- ・全国学力・学習状況調査及びみえスタディ・チェックの結果報告
- ・本年度は中止とした「天名マイふれあいフェア」の今後のあり方について協議①
- ・兼天栄中学校区ネットワーク委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止となった。

##### (4) 第4回学校運営協議会

- ・授業参観後の児童の様子について意見交換
- ・2学期いじめアンケートの結果について情報共有
- ・本年度は中止とした「天名マイふれあいフェア」の今後のあり方について協議②

##### (5) 第5回学校運営協議会

- ・3学期いじめアンケートの結果について情報共有
- ・学校関係者評価の協議
- ・本年度の取組及び次年度の取組について協議

#### 2 取組の成果や課題

【成果】・5年生を中心に、年間を通して米作りに取り組めたことで、子どもたちは多くの貴重な体験をし、地域の方と触れ合っ

- ・よりよい人間形成が構築されている。
- ・学校運営の現状や課題について情報共有し、その改善策や目指す学校像について、地域や保護者と熟議した。
- ・ウイズコロナの視点から、次年度に向け、これまでの学校行事（天名マイふれあいフェア）のあり方や内容を見直した。
- ・教職員の超過勤務削減の対応策について話し合い、学校活動日の電話受付は、原則、7：45～17：00と定め、それ



以外は留守番電話設定とした。

【課題】・「協働型」コミュニティ・スクールに向け，教職員，保護者，地域のそれぞれが役割やあり方について熟議し，さらに推進していく必要がある。

・ウイズコロナの視点から，今後の教育活動全般について，児童，保護者，地域の方々の健康と安全を第一とした内容や形態の実践を慎重に考えていきたい。

## II 学校支援ボランティアの活動

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	1	学生	0	58
地域住民	57	その他	0	

### 2 主な活動内容

#### (1) 学習支援ボランティア

コロナ禍に伴い米作り体験自体が危ぶまれたが，米作りボランティア（ふるさと先生）の協力により，5年生を中心に農作業体験及び観察・見学することができた。また，毎月の読み聞かせ及び町探検時の説明でお世話になった。



なお，例年行っている収穫祭「天名マイふれあいフェア」及び，例年お世話になっている学習畑の手入れや家庭科の実習補助等についてはコロナ感染症拡大防止のため中止とした。

#### (2) 安全安心ボランティア

毎日の登下校の見守り活動やあいさつ運動を行っていただきながら，気になる児童への声掛けも含め指導していただいた。マラソンの支援及び交通整理を行っていただいた。



#### (3) 環境ボランティア

除草作業の支援（年2回）及び定期的な樹木の伐採・剪定等を行っていただいた。



### 3 取組の成果と課題

【成果】地域の方とのふれあいにより，子どもたちは，地域から見守られ，支えられていると実感している。そのことが，子どもたちの自尊感情や自己有用感の育成につながっていると感じる。

【課題】ボランティアは高齢の方が多いため，次世代のボランティアの発掘を考えていく必要がある。

## ◆ 合川小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

本校では、活動組織を、学校教育活動の方向性や支援の在り方について委員全員で協議する全体協議会と、部会に分かれて協議する専門部で構成している。3つの専門部（学習支援部・環境部・安全部）については、例年は夏季休業中の学校運営協議会に教職員も全員参加し、協議を行っているが、今年度は昨年度同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。



#### 学校運営協議会での協議事項

##### 第1回 令和3年5月17日実施

- ・学校経営の改革方針について
- ・活動組織及び活動方針について
- ・新型コロナウイルス感染症対策に係る今年度の学校行事について
- ・人権標語募集について

##### 第2回 令和3年6月21日実施

- ・学校の様子・新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- ・「合川の子どもの学力向上，安全安心，快適な環境づくりの取組について」

3部会（学習支援部・環境部・安全部）に分かれて熟議

##### 第3回 令和3年9月13日実施予定 10月4日に延期

- ・学校の様子・新型コロナウイルス感染症に関する取組について
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査結果について
- ・人権標語最優秀作品選定について
- ・小規模特認校制度受付期間・学校見学について

##### 第4回 令和3年10月27日実施（学校保健会）

- ・本校の児童の様子（感染予防と学校生活，健康診断結果等）について
- ・学校医より
- ・一人一台端末での学習について

##### 第5回 令和3年12月13日実施

- ・令和3年度児童アンケート・保護者アンケート結果について
- ・学校評価について
- ・いじめ防止基本方針改訂について
- ・令和4年度の学校行事・教育活動について

##### 第6回 令和3年2月14日

- ・学校関係者評価について
- ・今年度の反省・来年度の方向性について

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、教育活動をどのように実施するかを学校運営協議会で熟議をしながら進めることができた。
- ・PTA、自治会や地域住民による運動場や校舎周辺の除草だけでなく、ボランティアの方による学校敷地周りの斜面の除草や樹木の剪定までしていただき、環境整備をすることができた。
- ・例年通り人権標語の最優秀作品は看板にして、校門前に設置したり、全児童の作品を校内や地域の掲示板に掲示したりして、子どもたちや地域住民に啓発することができた。
- ・子どもたちの安全な登下校のための見守りのおかげで、交通事故や不審者による被害がなく児童の安全安心につながった。
- ・昨年度実施することができなかった赤丸タイムの実施方法を見直した。一昨年までは全学年一斉に行っていたが、今年度は赤丸ボランティアの方に集まっていただく人数を少なくするため、赤丸タイムは2学年、他の4学年はイングリッシュタイムという組み合わせで実施した。また、赤丸ボランティアの方の来校を各学年2人に制限し、密を避ける対策をして行った。

### (2) 課題

- ・登下校の見守りをしていただく「きずなの会」の方も高齢化している。保護者をはじめ、新しい方の協力を啓発していく必要がある。
- ・小規模特認校として、特色となるものを検討していく。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	9	学生	0	47
地域住民	38	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア（校外学習の付き添い、赤丸ボランティア等）
- ・環境ボランティア（草刈り、樹木の剪定、学校周りの斜面除草等）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り等）



## ◆ 栄小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会のおもな取組

##### (1) 学校経営方針の承認

新型コロナウイルス感染症に関わる方針を明確にして経営にあたる必要性等を協議した。

##### (2) 地域の危険箇所の情報共有と対策

河川の氾濫や津波の危険性を情報共有し、防災については自治会連合会との連携が必要であること確認した。

また、通学路の整備については、PTA、学校支援ボランティア、まちづくり委員会の連携を図るように進めた。

##### (3) 児童の様子・学習環境についての協議

全国学力・学習状況調査やみえスタディチェックの結果、児童アンケート・保護者アンケートの結果、ノーメディア週間の取組結果等をもとに、成果や課題を検討した。

また、授業を参観し、その後、児童の学習の様子や教員の指導の様子、教室等の環境等について意見交換を行った。

##### (4) 学校保健委員会への参加

保護者・教職員・学校医・学校歯科医・学校薬剤師に学校運営協議委員も加わり、児童や家庭のメディアの課題について意見を交流した。



#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・今年度から、学校支援ボランティアの代表を学校運営協議委員に加えたことにより、ボランティアの視点から意見がでた。また、PTAの代表を増やしたことで、保護者の視点の意見をたくさん聞くことができ、学校運営に生かすことができた。
- ・学校運営協議委員長が学校医であることから、基本的な生活習慣やメディアに関する課題等を協議することができた。中でも大きな課題である「メディア」については、学校保健委員会で提案し、保護者・教職員と共に意見交流することができ、保護者への啓発につながった。

##### (2) 課題

- ・家庭や地域での子どもたちの過ごし方についての課題に取り組んでいくためには、地域や保護者に学校運営協議会の活動や協議内容を広く伝える必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	18	学生	3	59
地域住民	36	その他	2	

### 2 主な活動内容

#### ・安全安心ボランティア

通学路4か所を中心に交通安全活動を実施している。また、通学路の安全性を検討したりまちづくり委員会にストップマークの依頼をしたりした。



#### ・学習支援ボランティア

稲作りの講師や家庭科・図工などの学習支援を行っている。また、卒業式につけるコサージュを卒業生自ら作る準備や指導をしている。



#### ・図書ボランティア

毎週木曜日に学年別の読み聞かせを行っている。また、定期的に図書室に本に係る掲示を作成している。6年生には、絵本の実体験ができるアニメーションを開催している。



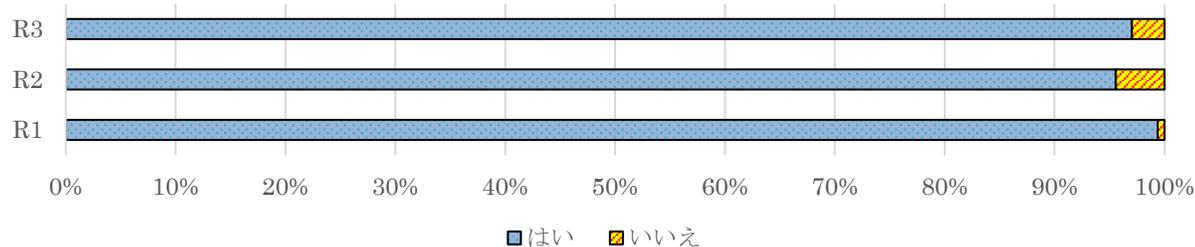
#### ・環境ボランティア

環境ボランティアでは、学校花壇への季節の花植えを計画的に行っている。花壇の水やりや学習のための花や野菜の苗の提供もしている。



#### 【保護者アンケート】毎年11月実施

学校支援ボランティアさんが、登下校の見守りや環境整備、読み聞かせ、学習サポート等をしてくださっていることを知っていますか。



## ◆ 郡山小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 学校運営協議会での協議内容

今年度はコロナウィルス感染拡大防止のため、5回の開催となった。

第1回 学校学校経営方針，統合について

第2回 学校の取組の報告，意見交流

第3回 中止（緊急事態宣言発出のため）

第4回 全国学力・学習状況調査結果分析  
報告，意見交流

第5回 学校保健活動報告と講演  
〔学校保健委員会と合同〕

第6回 1年間の取組のまとめ，  
学校関係者評価，来年度の方向性



##### (2) 天栄中学校区幼小中が連携した取組

- ・校区ネットワーク委員会（学校運営協議会委員長，地域コーディネーター，校園長），地域コーディネーター連絡会議を開催した。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した学校教育活動への支援を通して，子どもの学びを支えるために保護者や地域が果たす役割について考えることができた。
- ・中学校区の学校園や地域が直面している教育課題について，学校と地域が情報発信を丁寧に行うことにより共有することができた。
- ・地域コーディネーターの尽力により，学習支援や環境整備を中心に学校支援ボランティアを活用することができた。ゲストティーチャーとして支援していただく取組も行うことができた。

##### (2) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症予防の観点から，学校教育活動への支援や参加に大きな制約があったため，子どもの様子や学校の状況を把握しづらかった。
- ・学校運営協議会が支援中心となっており，「連携型」や「協働型」とはなっていない。学校教育や地域の課題の共有をさらに進め，熟議を生かした学校運営を行えるようにしたい。
- ・運営協議会の存在や役割について，地域や保護者からの認知度を高め

る必要がある。継続的に情報発信を進めると共に、PTA関係者の委員を通して、保護者の認知度を高めたい。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	18	学生	0	100
地域住民	76	その他	6	

### 2 主な活動内容

#### 学習支援ボランティア

新型コロナウイルス感染症予防のため、教室での支援を行うことができなかった。田植え・稲刈り体験や凧揚げなど屋外での活動で支援を行うことができた。



#### 環境ボランティア

学校内の樹木の剪定や草取り，学校周辺の草刈り，花壇の苗植えや学級園の整備，学校施設の修繕などを行っている。

#### 安全安心ボランティア

「子どもを守る会」会員や保護者が交代で，毎日，朝と下校時間に通学路の大きな交差点などで児童を見守り，安全確保に努めている。

#### 図書ボランティア

月曜日の朝に「読み聞かせ地域ボランティア」が読み聞かせをしている。季節や学習状況に合わせた本を取り上げており，児童は楽しみにすると共に，教科の学習内容や身近な暮らしについて興味を持つことができています。また，読み聞かせ地域ボランティアが企画し，平和学習や環境学習と組み合わせた授業も行うことができた。

#### その他

昨年度に引き続き，「作志のへや」（ボランティアが木曜日の業間時に常駐し，様々な教育活動支援を行った部屋）は閉鎖となった。開設時は，児童が訪ねてボランティアと交流・活動したり，教師からの希望に沿った活動やボランティア自身で工夫した活動も取り入れたりしていた。ボランティアと児童・教職員とのつながりを維持する工夫を行いつつ，ウィズ・コロナ，アフター・コロナ時代のボランティア活用の充実を模索したい。

## ◆ 鈴峰中学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

- ✓ 地域，保護者，諸団体の代表者で組織され，生徒の学校生活への支援を中心として活動している。
- ✓ コロナ禍で活動制限がある中，可能な限り感染症対策を施した上で学校行事等を参観し，第三者の視点から活動における評価及び助言を行っている。
- ✓ 校区人権フォーラムに参加し，児童・生徒に向けてテーマに沿ったアドバイスをを行う。
- ✓ 校区各小学校の学校運営協議会と連携，情報交換をすることで，地域の教育力の向上を図っている。



左上：学校運営協議会の様子  
上：人権フォーラムに参加  
左：鈴峰中体育館で開催した  
校区拡大学校運営協議会

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- ✓ 鈴峰中学校の取組を地域や諸団体等に広めることで，鈴峰中学校への協力の輪の維持継続をしている。また，鈴峰中学校区4小学校の学校運営協議会と連携して，拡大学校運営協議会を開催した。
- ✓ 拡大学校運営協議会参加者からは，貴重な機会でもっとも継続をしてもらいたい意見を多く聞くことができた。

- ✓ 学校教育活動を第三者的な視点から評価及び助言を頂くことで、教育活動の改善につながっている。
- ✓ 人権フォーラムに参加した際は、児童・生徒の活動を見てもらうだけでなく、地域づくりにおける貴重なアドバイスをしていただいた。
- ✓ 今年度取り組んだ「子ども支援ネットワーク・アクション事業」で実施した人権コンサートを、児童・生徒とともに鑑賞することにより、地域一体となって人権意識の向上を図ることができた。

## (2) 課題

- ✓ 少子高齢化に伴う地域人口の減少により、活動の維持が人的に困難になりつつある。
- ✓ 学校運営協議会委員は、自治会の役員委員や他の諸団体の役員等を兼任されて多忙なため、学校運営協議会への定期的な参加が困難になりつつある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	260	学生	1	269
地域住民	8	その他	0	

### 2 主な活動内容

- ✓ 学習支援ボランティア（進路学習ゲストティーチャー 等）
- ✓ 環境ボランティア（樹木剪定、除草作業、廃品回収 等）
- ✓ 安全安心ボランティア（登下校の見守り、交通安全教育の支援 等）
- ✓ 部活動支援ボランティア（部活動支援の補助 等）



廃品回収は53年継続中



除草作業の様子

## ◆ 深伊沢小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取り組み

今年度もコロナ禍の中、様々な学校行事の実施について、学校運営協議会で話し合った。水泳の授業に関しても理解していただき実施することができ、子どもたちの喜ぶ様子を伝えると、感染対策をしっかりと行って実施した教員に労いの言葉をいただいた。

運動会については昼食を保護者に準備していただき、例年どおりの種目で午前だけの開催を行った。表現運動を楽しみにしておられる地域の方もいて、今年はたくさん観戦に来られた。昨年同様、保護者・地域と児童のエリアを分けるなどの感染対策は行った。

また、ボランティアは学習、読み聞かせに限定し、ソーシャルディスタンスを取ることでできる教室で行ったり、拡大映写機を使ったりなど工夫して行い実施した。



#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

今年度もコロナ禍の中、感染症対策に応じて行事の見直しが図られたが、委員のみなさんの助言もあり、様々な工夫の中、児童の満足のいく行事を行うことができた。また、会議においては、一人ひとりの発言機会が保障され、焦点化された熟議を行うことができた。具体的な改善案が提示され委員長のリーダーシップのもと、建設的な話し合いを行うことができた。

##### (2) 課題

今後は、さらに深伊沢小を魅力ある学校にするため、協議の中から改善策を見出せるようさらに議論を活発化、ボランティアの拡充を工夫していく必要がある。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	32人	学生	1人	88人
地域住民	54人	その他	1人	

### 2 主な活動内容

学習支援ボランティア（ステップ学習、クラブ）

安全安心ボランティア（登下校見守り）

読み聞かせボランティア

環境ボランティア（除草作業、飛び出し注意看板作成）



## ◆ 庄内小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下における学校の在り方)

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年と同様の取組を行うことができなかった。その中で、児童が安心して過ごせるよう学校と保護者・地域がどのように取り組むかを検証してきた。

##### ① 学校と保護者・地域がどのように取り組むか

委員から、家庭・地域での状況等、情報を提供して頂き、このような状況の中でもできることを模索して学校と取り組みたいとの意見を頂いた。そこで、協議を重ねながら学校行事の参観、学習や環境に係るボランティア活動、地域と協働した花いっぱい運動等に取り組んだ。

##### ② 学校運営協議会での熟議内容を「学校だより」で発信する

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を前提に、児童のためにできることは何か等、協議会で熟議した内容を学校通信で保護者・地域に発信し、啓発を行った。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

- 学校を参観していただくことで、委員から課題となる点をご指摘していただいた。学校での感染防止対策や学校運営の改善につなげることができた。
- 学校運営協議会委員に授業を保護者・地域を代表して参観して頂いた。感染防止対策をしながら、学校が工夫して学習に取り組む状況を見て頂き、大変感心されていた。
- 屋外で行う環境ボランティア等、感染防止対策を施しながら保護者や地域の方々にボランティア活動に参加して頂いた。感染状況が収束しない中、たくさんの方が本校児童のために来校され、支援して下さった。
- 今まで当たり前のように利用していた通学路を見直し、整備して頂くことで児童を安心して通学させることができた。
- 地区行事のほとんどが中止になる中で、地域と協働で「花いっぱい運動」に参加することができた。地域との関わりを絶やさないように取り組めたことは大きい。

##### (2) 課題

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いている中では、継続的にボランティア活動を行うことは難しかった。今後、様々な意見を取り入れながらどのように学校を開いていくか熟考していく必要がある。

○学力保障については、概ね評価を頂いているが、一人一台端末の導入が行われたことで、端末操作のスキルアップやオンライン授業での学力定着などに課題がある。また、対面で人と人が話をすることの大切さや、児童の様々な体験や出会い学習が保障されていない。この社会情勢の中で、できることは何かを今後も探っていく必要がある。

○この2年間、例年の行事が行えなかったことで、行事のねらいや運営の記憶が失われつつある。地域との関りとして大切な伝統は残しつつ、新しい生活様式の中でできることにバージョンアップしていく必要がある。

## Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	10人	学生	0人	98人
地域住民	88人	その他	0人	

### 2 主な活動内容

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、地域コーディネーターを通じて老人会や地域住民と連携し、できる範囲でボランティアの活動を依頼した。感染拡大が続いているにもかかわらず、多くの方から支援を受けた。

- ・学習支援ボランティア（丸付け、昔の暮らし・遊び、地域の案内）
- ・環境ボランティア（除草作業、花壇・樹木の手入れ）
- ・安全安心ボランティア（登下校の見守り）
- ・図書ボランティア（読み聞かせ）



## ◆ 椿小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会の取組

##### (1) 椿っ子見守り隊の取組

学校で登下校のボランティアを募集し、通学路の危険箇所や集合場所での見守り活動を行っている。新名神高速道路のスマートインターが開通すると共に、校区内の新たな工業団地の開発に伴い、交通量も増え交通事故の危険性が高まってきている。

学校運営協議会でも話し合いを持ち、通学路への横断歩道や標識、押しボタン式信号、歩道、ポール等の設置について働きかけることで合意した。

その他に、「8・3運動」の取組について話し合い、保護者や地域へも周知し、取り組んでいる。



##### (2) 授業参観の取組

学校を支援し、子どもたちの学校生活を充実したものにしていくためには、実際の子どもの様子を把握していただく必要がある。そのために、年間1回学校運営協議会委員の方に授業を参観していただき、現状を見ていただく取組を行っている。参観の後は意見交換を行い、今後の指導について助言をいただいている。

##### (3) 学習ボランティアの取組

本年度もコロナ禍の中での取組であったが、感染症対策もとりながら、学習ボランティアの方に学校へ来ていただいた。夏休みの算数教室や、椿タイム（教育課程外の時間を活用した算数科における補充学習）、家庭科のミシン学習、校外学習の引率等でボランティアが必要な場合は、地域コーディネーターの方に連絡を取り、ボランティアの方を派遣していただいている。

##### (4) 学校行事への参観

椿小学校では、例年、英語の取組の成果発表の場として「椿ワールド」を行っている。学校運営協議会の方にも参加していただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、その代替りとして「運動会」に学校運営協議会の方も参加していただき、学校の取組を見学していただいた。また、その後に協議会を開催し、取組についての意見交換を行った。

## 2 取組の成果や課題

### (1) 成果

- ・見守り隊員による，青パトの巡回や登下校時の安全指導により，児童の安全につながった。
- ・授業参観や運動会等の学校行事を参観していただく中で，子どもたちの様子を把握し，具体的な意見交換につながった。また，学校関係者評価にも反映できた。
- ・感染症対策を施しながらボランティアの方に学校に来ていただき，支援を受けることで，児童の学力の向上につながった。

### (2) 課題

- ・児童数の減少により一人で下校する児童もおり，下校時の見守りも検討する必要がある。
- ・携帯やゲーム，インターネット等新たな課題も出てきている。家庭の教育力向上も含めて，今後どう取り組んでいくか検討する必要がある。
- ・ボランティアを継続してくださっていた方々の高齢化がみられ，今後いかに次の世代へと引き継いでいくか検討する必要がある。
- ・感染症対策を行いながらボランティアの活用を進めてきたが，時期によっては，ボランティアの予定を急遽変更せざるを得ない状況も発生した。感染症対策とボランティア活用の両立をいかに進めるかが課題である。

## II 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	15	学生		87
地域住民	70	その他	2	

### 2 主な活動内容

- ・学習支援ボランティア(丸付け，ミシン実習，校外学習の付き添い 等)
- ・環境ボランティア(草刈り，備品等の修繕 等)
- ・安全安心ボランティア(登下校の見守り，交通安全教室の支援，マラソン大会見守り 等)
- ・図書ボランティア(読み聞かせ 等)
- ・クラブボランティア(茶道クラブ・折り紙クラブ・バトミントンクラブ)

## ◆ 鈴西小学校

### I コミュニティ・スクールの実践について

#### 1 学校運営協議会が、主体的、自律的、組織的に取り組んだ協議（熟議）と特色ある取組

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による国、県、市の通知に基づいた臨時休校やオンライン授業の実施、学校行事の縮減、変更、感染症予防対策等があり、その都度学校の現状や対応、子どもの様子について報告や相談を行った。

休校や行事縮減、予防対策による影響について、昨年度から続いているため「学力」、「からだ」、「こころ」の観点から子どもを心配する声や学校の対応についての質疑が多かった。今後の授業や学校行事の持ち方、地域と学校との関り方等について熱心に熟議を行った。

- (2) 読書活動充実の取組について、児童、保護者アンケートから児童は学校では読書をしているが、家庭での読書習慣が身に付いていない現状が分かってきたことを報告した。委員からは「本を買っても繰り返し読まない。」「電子書籍は読んでいる」等の意見が出され、その意見に対して「買った本を繰り返し読まずに1回読んで終わりでもいいのではないか」、「電子書籍を読むのもいいのではないか」等の意見が出され熱心な熟議となった。

- (3) 本年度本格的に実施したオンライン授業の様子について、学校長から説明し、各家庭で保護者の方が通信環境の設定等に苦慮したこと、子どもだけで行うのは難しいことを説明し、児童の様子や対面授業に戻ったときの児童の様子等を知らせ今後の対応等について熟議を行った。

- (4) 昨年度から引き続きプールの授業がなくなったことについて、学校長から状況を説明した際には、「自分の命を守るために必要」な学習である等の水泳の授業の意義等の意見が出され、熱心な熟議となった。

- (5) 地域のまちづくり協議会が「ながら」見守りに参加している。地域の方々も関心を持つようになった。登録数を増やす手立てなど、今後の在り方を検討していく上で、各地域のまちづくり協議会と学校運営協議会が密接に連携を深めていく。

#### 2 取組の成果や課題

##### (1) 成果

地域コーディネーターや運営協議会委員長及び委員の方々が地域の老人会やまちづくり協議会、PTA専門部員に働きかけて、学校と地域が協働して取り組むことができた。

##### (2) 課題

学校だよりなどの地域回覧や学校ホームページを活用し、学校運営協議会の取組内容が地域に周知されつつあるが、今後もいっそう周知

を図っていくとともに情報の発信方法を工夫していく。

## Ⅱ 学校支援ボランティアの活動について

### 1 登録人数

内訳	人数	内訳	人数	合計
保護者	77	学生	0	276
地域住民	141	その他	58	

### 2 主な活動内容

#### (1) 学習支援ボランティア

- ・ 校外学習の付き添い
- ・ 生活科の体験学習の支援
- ・ 地域学習の講師や体験補助
- ・ 「森のまつり」や「マラソン大会」等の学習活動を伴う行事の支援



#### (2) 環境ボランティア

- ・ 除草作業
- ・ 学校敷地内の整備
- ・ 樹木の剪定作業

#### (3) 安全安心ボランティア

- ・ 登下校の見守り
- ・ 引き渡し訓練の支援
- ・ 交通安全教室の支援
- ・ 連れ去り防止教室の支援 (今年度は自粛)



#### (4) 図書ボランティア

- ・ 読み聞かせ(コロナ禍のため令和2年度より自粛)